



第111回

日本循環器学会 中国地方会

プログラム

会 期

2017年12/2(土)
3(日) 市民公開講座

会 場

倉敷市芸文館

会 長

門田 一繁

(倉敷中央病院 循環器内科 主任部長)



**第111回日本循環器学会
中国地方会
プログラム**

会長 門田 一繁

倉敷中央病院 循環器内科 主任部長

第111回日本循環器学会中国地方会の開催にあたって

第111回日本循環器学会中国地方会

会長 門田 一繁

(公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院 循環器内科)



この度、日本循環器学会の第111回中国地方会を2017年12月2日（土）に岡山県倉敷市の倉敷市芸文館で開催させて頂くことになりました。伝統ある学会の会長を務めさせていただきますことを大変光栄に存じております。

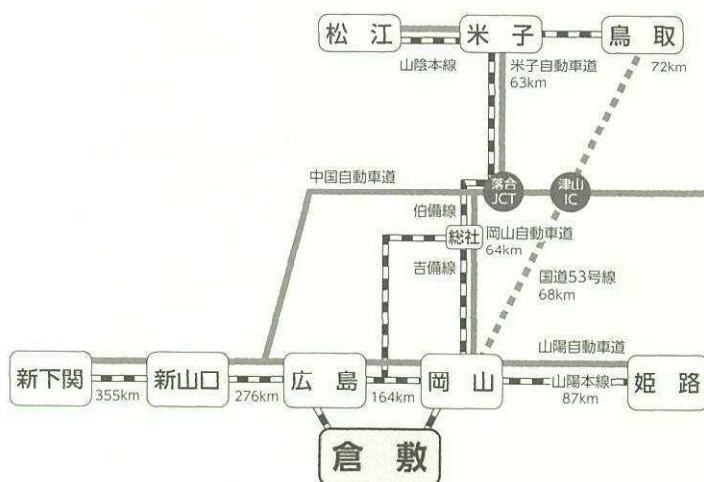
本学会は、中国地方で循環器疾患の診療に携わる内科系・外科系の医療関係者が一堂に会し、循環器疾患に関する基礎・臨床研究や症例報告などを発表し議論する場ですが、一方で、研修医らによる発表を通じて、若い才能を育むこと、また循環器診療に興味をもって、この領域で活躍することに繋がる場となることも本学会の重要な役割です。さらにコメディカルの方々にも多くの演題を発表していただき、循環器医療に携わる多職種間で情報を共有し交流を深める場としても重要です。

プログラムとして、一般演題、Young Investigator's Award (YIA)セッション、教育講演、研修医セッション、コメディカルセッションなどを予定しています。現在、循環器診療においても、超高齢化社会の影響を大きな影響を受けており、そのような背景のもと、今回、特別企画として、“超高齢化社会における低侵襲循環器診療”を取り上げました。教育講演は、内科系では京都大学 木村 剛 先生、外科系では 華山直二 先生をお招きし、循環器病学に関する最新の話題をご講演いただきます。日本循環器学会の取り組みの一環として、禁煙と男女共同参画のセッションを開催させていただくことといたしました。ともに、社会的にも重要なテーマで、活発な議論となり、今後の展開に繋がればと思っております。さらに翌日の12月3日（日）には心筋梗塞予防の啓蒙のための市民公開講座も企画しています。

皆様方におかれましては、本会の開催趣旨をご理解いただき、ご支援・ご協力をお願い申し上げる次第です。12月初旬の倉敷はまだそれほど寒くなく、時間が許せば、倉敷美観地区にも足を延ばして、楽しんでいただければと存じます。是非、多くの皆様方のご参加をお待ちしています。

交通のご案内

会場：倉敷市芸文館（岡山県倉敷市中央1-18-1）



JR倉敷駅から

- 徒歩で約15分
- タクシーで約5分
- バス：市役所前経由・吉岡経由（倉敷駅南口バス乗り場3・4番）で中央2丁目（倉敷市芸文館）下車すぐ

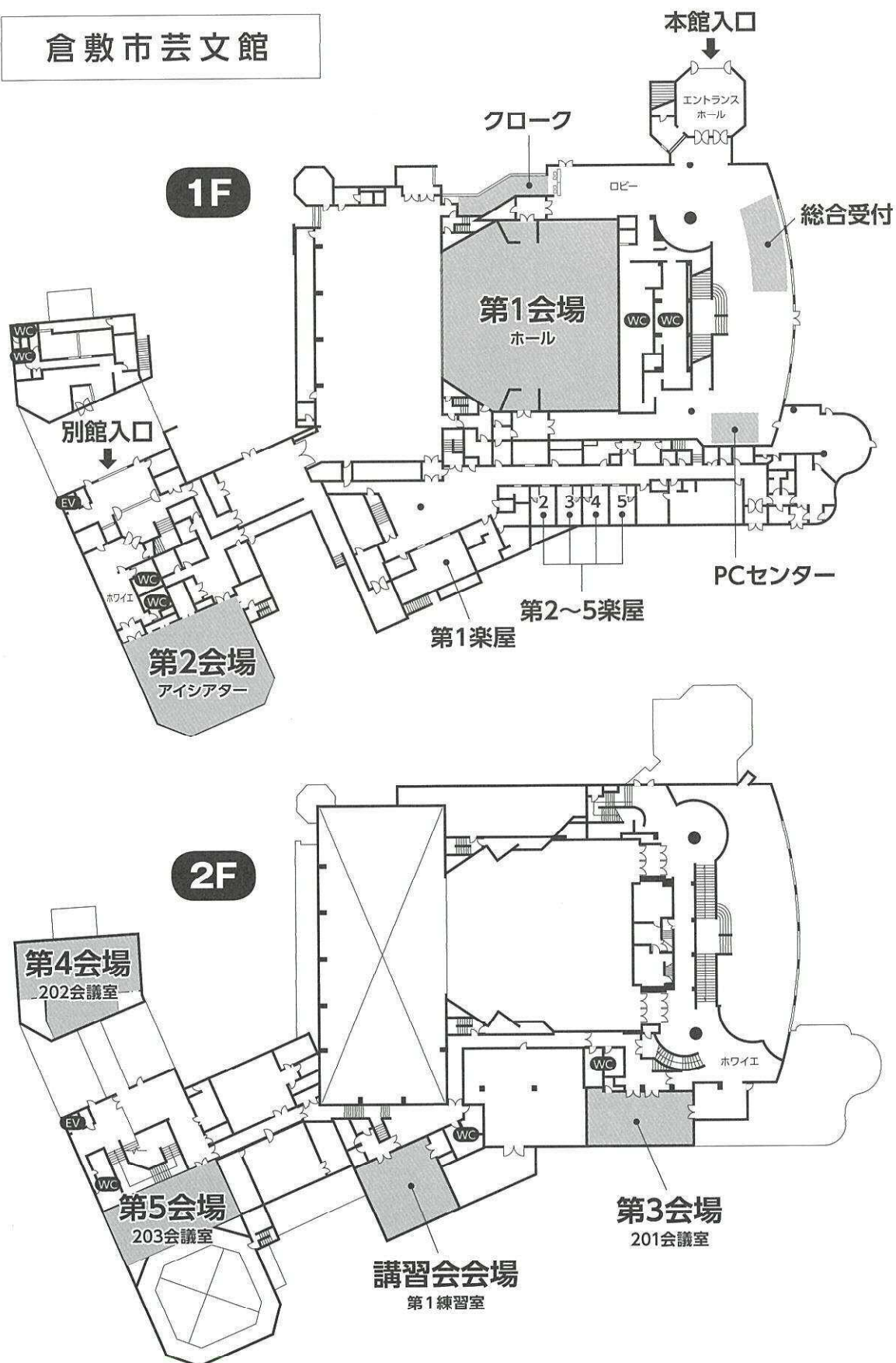
お車で

- 倉敷IC（山陽自動車道）から約20分
- 早島IC（瀬戸中央自動車道）から約20分

※ただし、芸文館地下駐車場（有料）は十分な台数がないので、公共の交通機関をご利用ください。

会場案内図

倉敷市芸文館



ご案内

参加者の皆様へ

◆参加受付

12月2日（土）8：20～17：00【倉敷市芸文館 本館1階 ロビー】

地方会参加費：医師および医療関係者 3,000円

コメディカル 1,000円

初期研修医 1,000円（証明書の提示が必要 ※様式自由）

学生 無料（学生証の提示が必要）

教育セッション参加費：医師および医療関係者 1,000円

初期研修医・コメディカル・学生 無料

プログラム集：1,000円

◆クローク

12月2日（土）8：20～【本館1階 ロビー】

◆中国支部AHA BLSプロバイダーコース

日程：12月2日（土）13：00～18：00

会場：本館2階 第1練習室

＜今後の日程＞

日本循環器学会ホームページよりご確認ください。

◆循環器専門医資格更新に必要な研修単位の登録方法

総合受付にて各種参加費をお支払い後、「循環器専門医カード」を提示のうえ、ご登録ください。カードの再発行が必要な場合は、単位登録受付に再発行申請書をご用意しておりますのでご申告ください。なお、発行時期等は、申請書をご確認ください。

下記の期間中に登録を忘れた場合、プログラム・参加証等の他書類で研修単位を申告されても受付いたしません。

＜学会研修＞

研修単位：5単位

単位登録：参加受付期間中

受付場所：本館1階 総合受付「循環器専門医単位登録受付」

＜教育セッション＞

研修単位：3単位

単位登録：各セッションの開始1時間前～終了30分前まで

受付場所：本館1階 総合受付「単位登録受付」

＜DVDセッション（医療安全・医療倫理に関する講演会）＞

DVDセッション参加費：無料（参加受付不要）

研修単位：2単位

単位登録：セッション開始30分前～終了30分前まで

受付場所：別館2階 第3会場「DVDセッション単位登録受付」

※会期中は必ず参加証をご着用ください。なお、参加証の再発行はいたしかねます。

※会場での呼び出しは出来ません。

※許可のない掲示・展示・印刷物の配布・撮影・録音は固くお断りいたします。

評議員会

日時：12月2日（土）11：50～12：20

場所：第2会場（別館1階 アイシアター）

演題抄録の掲載

全ての演題抄録は日本循環器学会ホームページに掲載します。日本循環器学会ホームページへの掲載にあたって、抄録の著者による校正はいたしませんのであらかじめご了承ください。訂正等がある場合には、地方会終了後速やかに日本循環器学会事務局（本部事務局）までご連絡ください。

事務局

学会事務局 倉敷中央病院 循環器内科

〒710-8602 岡山県倉敷市美和1-1-1

TEL：086-422-0210（代表）

運営事務局 株式会社日本旅行 中四国コンベンショングループ

〒700-0023 岡山県岡山市北区駅前町2-1-7 JR西日本岡山支社ビル1階

TEL：086-259-5578 FAX：086-250-7682 E-mail：jcs-ch111@wjcs.jp

発表者の方へ

◆PCセンター

12月2日（土）8：20～【本館1階 ロビー】

◆進行情報

セッション分類	発表	質疑
一般演題	5分	3分
若手研究者奨励賞（YIA）	7分	3分
研修医奨励賞	6分	4分

- ・発表時間は時間厳守でお願いいたします。
- ・発表終了1分前 黄ランプ、終了時・超過 赤ランプ

◆発表方法

- ・発表はPC発表（PowerPoint）に限ります。
- ・発表データまたPC本体の受付は、必ずご自身の発表30分前までに上記PCセンターにてお済ませください。PCセンターでのデータ修正はできません。
- ・データ持ち込み・PC持ち込みのいずれの場合でも、スライド送りの操作は、演台上のマウスまたはキーボードにてご自身で操作していただきます。（レーザーポインタもご用意しております）
- ・発表の10分前までに、次演者席にご着席ください。
- ・PowerPointの「発表者ツール」は使用できません。発表用原稿が必要な方は各自ご準備ください。

◆データの作成環境

- ・アプリケーション：Windows MS PowerPoint 2007 ～ 2013
- ・フォント：MS ゴシック・明朝、MSP ゴシック・明朝、Arial、Century、Century Gothic、Times New Roman

◆データ持ち込み

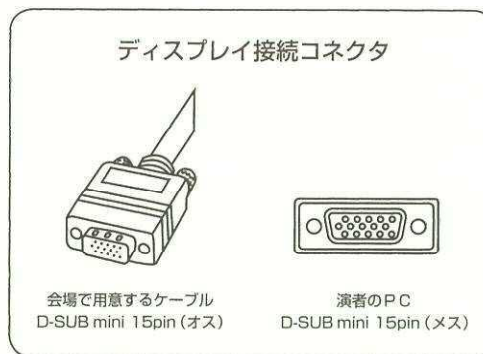
- ・発表データは、USBメモリーまたはCD-Rにてお持ちください。メディア内には、発表データのみを保存してください。
- ・Macintoshの場合は、動作確認済みのPC本体をご自身でお持ち込みください。
- ・動画データをご使用の場合はWindows Media Playerで再生可能であるものに限定いたしますが、ご発表データは上記の通りデータを持ち込んでいただき、バックアップのために動作確認をされたご自身のPCもお持ちください。
- ・お預かりした発表データは、学会終了後破棄いたします。

◆PC 持ち込み

- ・パソコンのACアダプター、外部出力用変換ケーブルは、必ずご自身でご用意ください。
- ・会場でご用意するPCケーブルコネクタの形状は、D-SUB mini 15pin（図参照）です。この出力端子をもつパソコンをご用意いただくか、この形状に変換するコネクタを必要とする場合には、必ずご持参ください。

※HDMIの出力端子には対応しておりません。同様に変換アダプターをご持参ください。

- ・バッテリー切れ防止のため、電源ケーブルをご持参ください。
- ・スクリーンセーバーならびに省電力設定、パスワード入力は事前に解除してください。



(図)

座長の方へ

- ・担当セッション開始10 分前までに、次座長席にご着席ください。
- ・進行は座長に一任いたしますが、時間厳守にてお願いいたします。

その他

- ・質疑応答は簡潔にお願いいたします。発言希望者は、予め会場に設置したマイクの前に並び、座長の指示に従ってください。追加発言や質疑応答のためのPCプレゼンテーションは受け付けません。
- ・会場での呼び出しは出来ません。
- ・許可のない掲示・展示・印刷物の配布・撮影・録音は固くお断りいたします。

若手研究者奨励賞(YIA)、研修医奨励賞について

若手研究者、研修医を対象に、エントリーいただきました演題の中から優れた演題を表彰いたします。

評価方法：以下の3点につきそれぞれ総合的に評価を行います。

- | | |
|-----------------------------|-------|
| 1) 内容（新規性、独創性、発展性を含む） | 10点満点 |
| 2) 演者の理解度、質疑応答 | 5点満点 |
| 3) プレゼンテーション（まとめ方、話し方、時間配分） | 5点満点 |

評価、選考は以下の選考委員で行います。

若手研究者奨励賞 (YIA) 審査員

上村 史朗（川崎医科大学 循環器内科学）
伊藤 浩（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 循環器内科学）
山本 一博（鳥取大学医学部病態情報内科学分野）
田邊 一明（島根大学 循環器内科）
矢野 雅文（山口大学大学院医学系研究科 器官病態内科学）
木原 康樹（広島大学大学院医歯薬保健学研究科 循環器内科学）

研修医奨励賞 審査員

山本 健（山口大学 大学院医学系研究科 病態検査学）
大原美奈子（心臓病センター榊原病院 循環器内科）
中澤 芳夫（済生会江津総合病院 循環器科）
吉栖 正生（広島大学 循環器内科）
上田 浩徳（県立広島病院 循環器内科）
笠原 尚（山陰労災病院 循環器科）
中川 晃志（岡山大学 循環器内科）
石田 万里（広島大学 循環器内科）
岡田 武規（広島赤十字・原爆病院 循環器内科）
古川 博史（川崎医科大学 心臓血管外科）
大塚 雅也（広島市立広島市民病院 循環器内科）
遠藤 昭博（島根大学 循環器内科）

◎表彰式

発表者または代理の方は必ず表彰式に参加してください。

12月2日（土）14：55～15：15 第1会場（1階 ホール）

座長一覧

特別企画

<第1会場>

13:25 ～ 14:55

山口大学大学院 医学系研究科器官病態内科学
倉敷中央病院 循環器内科

岡村 譽之
丸尾 健

若手研究者奨励賞

<第1会場>

Y01～Y03 8:45～ 9:15 YIA

川崎医科大学 循環器内科学
島根大学 循環器内科

上村 史朗
田邊 一明

研修医奨励賞

<第4会場>

R01～R04 8:45～ 9:25 研修医奨励賞1

山口大学 大学院医学系研究科 病態検査学
心臓病センター榊原病院 循環器内科

山本 健
大原美奈子

R05～R08 9:25～10:05 研修医奨励賞2

済生会江津総合病院 循環器内科
広島大学 循環器内科

中澤 芳夫
吉栖 正生

R09～R12 10:05～10:45 研修医奨励賞3

県立広島病院 循環器内科
山陰労災病院 循環器科

上田 浩徳
笠原 尚

R13～R16 10:45～11:25 研修医奨励賞4

岡山大学 循環器内科
広島大学 循環器内科

中川 晃志
石田 万里

R17～R21 11:25～12:15 研修医奨励賞5

広島赤十字・原爆病院 循環器内科
川崎医科大学 心臓血管外科

岡田 武規
古川 博史

R22～R27 13:25～14:25 研修医奨励賞6

広島市立広島市民病院 循環器内科
島根大学 循環器内科

大塚 雅也
遠藤 昭博

教育セッション1

<第1会場>

15:20～16:20

倉敷中央病院 循環器内科 門田 一繁

教育セッション2

<第1会場>

16:20～17:20

倉敷中央病院 心臓血管外科 小宮 達彦

男女共同参画セッション

<第2会場>

9:50～10:50

川崎医科大学 循環器内科学 上村 史朗
東部島根医療福祉センター 金津 幸子

禁煙推進委員会セッション

<第2会場>

10:50～11:50

広島大学 循環器内科 東 幸仁
鳥取大学医学部 薬物治療学分野 長谷川純一

一般演題

<第1会場>

001～005 9:25～10:05 虚血性心疾患1

鳥取県立中央病院	循環器内科	那須 博司
心臓病センター榊原病院	循環器内科	吉田 俊伸

006～010 10:05～10:45 虚血性心疾患2

福山循環器病院	循環器内科	竹林 秀雄
JA尾道総合病院	循環器内科	森島 信行

011～015 10:45～11:25 虚血性心疾患3

徳山中央病院	循環器内科	分山 隆敏
福山市民病院	循環器内科	吉川 昌樹

016～021 11:25～12:13 虚血性心疾患4

岡山赤十字病院	循環器内科	佐藤 哲也
マツダ病院	循環器内科	三保 成正

<第2会場>

022～025 8:45～ 9:17 末梢血管1

心臓病センター榊原病院	循環器内科	山本 桂三
安佐市民病院	循環器内科	加藤 雅也

026～029 9:17～ 9:49 末梢血管2

倉敷中央病院	循環器内科	羽原 誠二
福山市民病院	循環器内科	中濱 一

030～033 13:25～13:57 末梢血管3

松江赤十字病院	循環器内科	城田 欣也
岡山大学	循環器内科	戸田 洋伸

034～038 13:57～14:37 その他疾患

津山中央病院	循環器内科	岡 岳文
JR広島病院	循環器内科	寺川 宏樹

039～042 14:37～15:09 心内膜炎

広島市立広島市民病院	循環器内科	正岡 佳子
米子医療センター	循環器内科	福木 昌治

<第3会場>

043～047	10:45～11:25	心筋炎・心筋症1	岡山済生会総合病院 内科	寺坂 律子
			山口県立総合医療センター 循環器内科	池田 安宏
048～052	11:25～12:05	心筋炎・心筋症2	山口大学 器官病態内科学	名尾 朋子
			鳥取大学 循環器内科	加藤 雅彦
053～056	13:25～13:57	大動脈1	広島大学病院 心臓血管外科	片山桂次郎
			松江赤十字病院 心臓血管外科	齋藤 雄平
057～060	13:57～14:29	大動脈2	岡山大学 心臓血管外科	衛藤 弘城
			広島市立広島市民病院 心臓・大血管低侵襲治療部	佐伯 宗弘
061～064	14:29～15:01	大動脈3	山口大学 器官病態外科 血管外科	森景 則保
			心臓病センター榊原病院 心臓血管外科	吉鷹 秀範

<第4会場>

065～068	14:25～14:57	肺	川崎医科大学 循環器内科	根石 陽二
			岡山医療センター 臨床研究部	小川 愛子
069～071	14:57～15:21	静脈	岡山医療センター 循環器内科	宗政 充
			島根県立中央病院 循環器内科	小田 強

<第5会場>

072～076	8:45～9:25	不整脈1	山口大学 器官病態内科学	吉賀 康裕
			広島大学 循環器内科	中野由紀子
077～081	9:25～10:05	不整脈2	倉敷中央病院 循環器内科	田坂 浩嗣
			広島市立広島市民病院 循環器内科	末成 和義
082～086	10:05～10:45	心不全1	倉敷中央病院 循環器内科	多田 毅
			広島大学大学院 循環器内科学	日高 貴之

087～091	10:45～11:25	心不全2	山口大学 器官病態内科学 岡山大学 循環器内科（岡山県南東部（玉野）総合診療医学講座）	小林 茂樹 谷山真規子
092～096	11:25～12:05	弁膜症1	倉敷中央病院 心臓血管外科 広島市民病院 循環器内科	島本 健 西岡 健司
097～101	13:25～14:05	弁膜症2	倉敷中央病院 循環器内科 鳥取大学医学部 器官再生外科学	福 康志 西村 元延
102～105	14:05～14:37	不整脈3	岡山大学 循環器内科 松江赤十字病院 循環器内科	森田 宏 井上 義明
106～109	14:37～15:09	不整脈4	津山中央病院 循環器内科 岡山ハートクリニック	池田 悦子 村上 充

日程表

第1会場 本館1階 ホール		第2会場 別館1階 アイシアター		第3会場 本館2階 201会議室	
8:40	開会式			8:45	
8:45	YIA (Y01~Y03) 座長：上村 史朗／田邊 一明	8:45	末梢血管1 (022~025) 座長：山本 桂三／加藤 雅也		
9:15		9:17	末梢血管2 (026~029) 座長：羽原 誠二／中濱 一		
9:25	虚血性心疾患1 (001~005) 座長：那須 博司／吉田 俊伸	9:49 9:50	男女共同参画セッション 座長：上村 史朗 金津 幸子 演者：上村 史朗 富田 純子 中川 直美 小室あゆみ		DVDセッション
10:05	虚血性心疾患2 (006~010) 座長：竹林 秀雄／森島 信行	10:50	禁煙推進委員会セッション 座長：東 幸仁 長谷川純一 演者：長谷川純一 飯田 真美	10:45	心筋炎・心筋症1 (043~047) 座長：寺坂 律子／池田 安宏
10:45	虚血性心疾患3 (011~015) 座長：分山 隆敏／吉川 昌樹	11:50	支部総会（評議員会）	11:25	心筋炎・心筋症2 (048~052) 座長：名尾 朋子／加藤 雅彦
11:25	虚血性心疾患4 (016~021) 座長：佐藤 哲也／三保 成正	12:20		12:05	
12:13		12:30	ランチョンセミナー 2 座長：矢野 雅文 演者：斯波真理子 共催：サノフィ株式会社		
12:30	ランチョンセミナー 1 座長：木原 康樹 演者：佐野 元昭 共催：田辺三菱製薬株式会社	13:20 13:25	末梢血管3 (030~033) 座長：城田 欣也／戸田 洋伸	13:25	大動脈1 (053~056) 座長：片山 桂次郎／齋藤 雄平
13:20 13:25	特別企画 座長：岡村 誓之 丸尾 健 演者：田坂 浩嗣 城戸 倫之 岡村 誓之 木曾 啓祐 三好 亨 久保 俊介	13:57	その他疾患 (034~038) 座長：岡 岳文／寺川 宏樹	13:57	大動脈2 (057~060) 座長：衛藤 弘城／佐伯 宗弘
14:55	表彰式	14:37	心内膜炎 (039~042) 座長：正岡 佳子／福木 昌治	14:29	大動脈3 (061~064) 座長：森景 則保／吉鷹 秀範
15:15 15:20		15:09		15:01	
	教育セッション1 座長：門田 一繁 演者：木村 剛				
16:20	教育セッション2 座長：小宮 達彦 演者：華山 直二				
17:20	閉会式				

第4会場 別館2階 202会議室		第5会場 別館2階 203会議室		講習会会場 本館2階 第1練習室	
8:45	研修医奨励賞1 (R01~R04) 座長：山本 健/大原 美奈子	8:45	不整脈1 (072~076) 座長：吉賀 康裕/中野 由紀子		
9:25	研修医奨励賞2 (R05~R08) 座長：中澤 芳夫/吉栖 正生	9:25	不整脈2 (077~081) 座長：田坂 浩嗣/末成 和義		
10:05	研修医奨励賞3 (R09~R12) 座長：上田 浩徳/笠原 尚	10:05	心不全1 (082~086) 座長：多田 毅/日高 貴之		
10:45	研修医奨励賞4 (R13~R16) 座長：中川 晃志/石田 万里	10:45	心不全2 (087~091) 座長：小林 茂樹/谷山 真規子		
11:25	研修医奨励賞5 (R17~R21) 座長：岡田 武規/古川 博史	11:25	弁膜症1 (092~096) 座長：島本 健/西岡 健司		
12:15		12:05			
12:30	ランチョンセミナー 3 座長：門田 一繁 演者：山地 杏平 共催：アボット バスキュラー ジャパン株式会社	12:30	ランチョンセミナー 4 座長：山本 一博 演者：伊藤 浩 共催：第一三共株式会社		
13:20 13:25	研修医奨励賞6 (R22~R27) 座長：大塚 雅也/遠藤 昭博	13:20 13:25	弁膜症2 (097~101) 座長：福 康志/西村 元延		
14:25	肺 (065~068) 座長：根石 陽二/小川 愛子	14:05	不整脈3 (102~105) 座長：森田 宏/井上 義明		
14:57	静脈 (069~071) 座長：宗政 充/小田 強	14:37	不整脈4 (106~109) 座長：池田 悦子/村上 充		
15:21		15:09		13:00	AHA BLSヘルスケア プロバイダーコース
				18:00	



第111回日本循環器学会中国地方会 **市民公開講座**

生活習慣病

～心筋梗塞にならないためのポイント～



座長

山田 斉 (やまだ内科クリニック 倉敷連合医師会会長)
門田 一繁 (倉敷中央病院 循環器内科)

先着200名
入場無料
事前申込不要

日時 **2017年 12月3日(日)**
10:00～12:00(9:30受付・開場)

会場 **倉敷市芸文館 別館1階
アイシアター**
〒710-0046
岡山県倉敷市中央1-18-1

1. 心筋梗塞について
演者: 門田 一繁 (倉敷中央病院 循環器内科)
2. はじめましょう、続けましょう、運動療法
演者: 西崎 真里 (岡山医療センター リハビリテーション科)
3. 心筋梗塞も引き起こすタバコの害
演者: 長谷川 純一 (鳥取大学医学部 薬物治療学分野)
4. 今日から実践! 食事のポイント
演者: 高瀬 綾子 (倉敷中央病院 栄養治療部)

後援: 岡山県、倉敷市、岡山県医師会、岡山市医師会、倉敷医師会



第 111 回日本循環器学会中国地方会

男女共同参画セッション

ライフイベントと キャリア形成のバランス

日時

12月2日(土) 9:50～10:50

会場

第2会場 (倉敷市芸文館 1階 アイシアター)

座長

上村 史朗 先生 (川崎医科大学 循環器内科学)
金津 幸子 先生 (東部島根医療福祉センター)

講演 1

「日本循環器学会での取組について」

上村 史朗 先生 (川崎医科大学 循環器内科学)

講演 2

「地域医療と循環器内科医」

富田 純子 先生 (府中市民病院 内科・循環器内科)

講演 3

「綱と思うかリボンと思うか」

循環器小児科分野における女性医師のポジション

中川 直美 先生 (広島市民病院 循環器小児科)

講演 4

「ライフイベントとキャリアの両立をめざして」

小室 あゆみ 先生 (山口大学 循環器内科)



一般社団法人 日本循環器学会

第7回 禁煙推進委員会 地方会セッション

2017年12月2日(土)

場所／倉敷市芸文館 1F
アイシアター(第2会場)

時間／10:50～11:50 (60分枠)



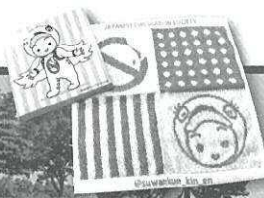
内容 「押さえておきたい禁煙指導の基本」

会長 門田 一繁先生 (倉敷中央病院循環器内科)

座長 東 幸仁先生 (広島大学原爆放射線医科学研究所 ゲノム障害医学研究センター
ゲノム障害病理研究分野 再生医科学部門)
長谷川 純一先生 (鳥取大学医学部 薬物治療学)

講演1 「循環器診療と禁煙指導」
飯田 真美先生 (岐阜県総合医療センター 循環器内科)

講演2 「禁煙補助薬と電子タバコ」
長谷川 純一先生 (鳥取大学医学部 薬物治療学)



ほくの
タオルチーフを
プレゼント♪



一般社団法人 日本循環器学会

特別企画

12月2日(土) 13:25~14:55 第1会場

「循環器低侵襲診断、低侵襲治療を極める」

座長：山口大学大学院 医学系研究科器官病態内科学 岡村 誉之

倉敷中央病院 循環器内科 丸尾 健

「デバイス治療の進歩(リードレスペースメーカー, SCD)」

倉敷中央病院 循環器内科 田坂 浩嗣

「MRI」

愛媛大学 放射線医学 城戸 倫之

「画像診断からみた冠動脈診断の進歩」

山口大学大学院 医学系研究科器官病態内科学 岡村 誉之

「シンチ (D-SPECT)」

国立循環器病研究センター 放射線部 木曾 啓祐

「CT(FFRCT)」

岡山大学 循環器内科 三好 亨

「弁膜症治療 (TAVIとMitraclip)」

倉敷中央病院 循環器内科 久保 俊介

教育セッション

1. 12月2日(土) 15:20~16:20 第1会場

座長：倉敷中央病院 循環器内科 門田 一繁

「冠動脈疾患薬物治療: 最近の知見」

京都大学大学院医学研究科・医学部 循環器内科学 木村 剛

2. 12月2日(土) 16:20~17:20 第1会場

座長：倉敷中央病院 心臓血管外科 小宮 達彦

「心臓血管外科領域における血流解析の最前線」

関東労災病院 心臓血管外科 華山 直二

※参加受付は2日(土) 8時20分から総合受付にて行います。
参加費と引き換えに教育セッション参加証をお渡しいたします。

※日本循環器学会総会認定循環器専門医資格更新に必要な研修単位の登録：3単位

男女共同参画セッション

12月2日(土) 9:50~10:50 第2会場

「ライフイベントとキャリア形成のバランス」

座長：川崎医科大学 循環器内科学 上村 史朗

東部島根医療福祉センター 金津 幸子

「日本循環器学会での取組について」

川崎医科大学 循環器内科学 上村 史朗

「地域医療と循環器内科医」

府中市民病院 内科・循環器内科 富田 純子

「綱と思うかリボンと思うか」

循環器小児科分野における女性医師のポジション

広島市民病院 循環器小児科 中川 直美

「ライフイベントとキャリアの両立をめざして」

山口大学 循環器内科 小室あゆみ

禁煙推進委員会セッション

12月2日(土) 10:50～11:50 第2会場

座長：広島大学 循環器内科

東 幸仁

鳥取大学医学部 薬物治療学分野

長谷川純一

「禁煙補助薬と電子タバコ」

鳥取大学医学部 薬物治療学分野

長谷川純一

「循環器診療と禁煙指導」

岐阜県総合医療センター 循環器内科

飯田 真美

DVDセッション

DVDセッション研修内容：第81回学術集会で開催された
「第1回倫理に関する講演会」、
「第1回医療安全に関する講演会」収録分

12月2日(土) 8:45～10:45 第3会場

第1回倫理に関する講演会 「臨床研究の倫理指針の動向」

座長：長崎大学循環器内科学 前村 浩二
大阪大学保健管理センター 瀧原 圭子

「個人情報保護法改正と医療・医学」

国立がん研究センター 田代 志門

第1回医療安全に関する講演会 「医療事故調査制度の現状」

座長：山形大学内科学第一（循環・呼吸・腎臓内科学）講座 久保田 功

「日本における診療関連死の現状と問題点」

九州大学法医学分野 池田 典昭

※会場入口にて単位登録を行います。

※日本循環器学会認定循環器専門医資格更新に必要な研修単位の登録：2単位
ただし、第81回学術集会で開催された「第1回倫理に関する講演会」、「第1回医療安全に関する講演会」を聴講又は、インターネットで同講演を視聴し、すでに単位登録をされた方、または第110回日本循環器学会中国・四国合同地方会DVDセッションにて、すでに単位登録をされた方は単位加算ができません。

ランチョンセミナー

1. 12月2日(土) 12:30~13:20 第1会場

座長：広島大学大学院医歯薬保健学研究科 循環内科学 本原 康樹

「心血管イベント抑制を意識した糖尿病治療戦略」

慶應義塾大学医学部循環器内科 佐野 元昭

共催：田辺三菱製薬株式会社

2. 12月2日(土) 12:30~13:20 第2会場

座長：山口大学大学院医学系研究科 器官病態内科学 矢野 雅文

「家族性高コレステロール血症のup to date -動脈硬化性疾患予防ガイドライン2017を踏まえて-」

国立循環器病研究センター研究所 病態代謝部 斯波真理子

共催：サノフィ株式会社

3. 12月2日(土) 12:30~13:20 第4会場

座長：倉敷中央病院 循環器内科 門田 一繁

「DES&BVS」

小倉記念病院 循環器内科 山地 杏平

共催：アボット バスキュラー ジャパン株式会社

4. 12月2日(土) 12:30~13:20 第5会場

座長：鳥取大学医学部 病態情報内科学 山本 一博

「第3の死因、thromboembolism、を考える」

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 循環器内科学 伊藤 浩

共催：第一三共株式会社

若手研究者奨励賞

第1会場

8:45～9:15

YIA

座長:上村 史朗／田邊 一明

Y01 TAVI時代における透析AS患者の手術成績

倉敷中央病院 心臓血管外科

古市 吉真、小宮 達彦、島本 健、野中 道仁、境 次郎、北浦 順也、
金子 寛行、陣野 太陽、富永 磨、白神 拓、菅谷 篤史、平山 雅弥

Y02 治療に難渋した肺高血圧症の一例

国立病院機構岡山医療センター

内藤 貴教、下川原裕人、松原 広己、岩野 貴之、辻 真弘、西原 大裕、
重歳 正尚、田淵 勲、宮地 晃平、宗政 充

Y03 PITX2遺伝子多型は洞機能を低下させ心房細動発症に寄与している

広島大学大学院医歯薬保健学研究科 循環器内科学

友森 俊介、中野由紀子、西染 顕典、徳山 丈仁、元田 親章、松村 誠也、
網岡 道孝、廣延 直也、大久保陽策、岡村 祥央、木原 康樹

研修医奨励賞

第4会場

8:45～9:25

研修医奨励賞1

座長：山本 健／大原 美奈子

R01 心室中隔穿孔を合併し、大動脈弁及び三尖弁に同時に尤贅を認めた感染性心内膜炎の一例

独立行政法人国立病院機構岩国医療センター

河角 敬太、中島 充貴、飯田 倫公、山田 隆史、森 淳史、横濱 ふみ、
和田 匡史、長谷川大爾、川本 健治、田中屋真智子、片山 祐介、櫻木 悟

R02 多発性骨髄腫を合併する全身性アミロイドーシスの診断に至った心アミロイドーシスの一例

独立行政法人 国立病院機構 岩国医療センター

梶原 健太、中島 充貴、飯田 倫公、山田 隆史、森 淳史、横濱 ふみ、
和田 匡史、長谷川大爾、川本 健治、田中屋真智子、片山 祐介、櫻木 悟

R03 MRSA敗血症を再発しデバイス関連感染症が疑われ、死亡した心臓再同期療法後の拡張型心筋症の1例

¹独立行政法人国立病院機構 広島西医療センター 初期臨床研修医、

²独立行政法人国立病院機構 広島西医療センター 循環器科

近藤 賢史¹、中村 秀志²、楠 正美²、藤原 仁²

R04 下肢静脈うっ滞を主訴に発見された慢性収縮性心膜炎の2手術例

¹川崎医科大学 心臓血管外科、²川崎医科大学 循環器内科

上野 綸¹、本田 威¹、山澤 隆彦¹、古川 博史¹、種本 和雄¹、上村 史郎²

9:25～10:05

研修医奨励賞2

座長：中澤 芳夫／吉栖 正生

R05 うっ血性心不全の発症で発見しえたバルサルバ洞動脈瘤の1例

鳥取県立中央病院 心臓内科

吉田 諒、吉田 泰之、那須 博司、菅 敏光、影島 健二

R06 洞調律、非心筋梗塞にもかかわらず心源性の全身塞栓症を来した一例

¹JR広島病院 教育研修部、²JR広島病院 循環器内科

高原 由衣¹、藤井 雄一²、上田 智広²、大下 千景²、寺川 宏樹²

R07 保存的治療により良好な転機を得た孤立性上腸間膜動脈解離の1例

広島市立安佐市民病院循環器内科

滝本 龍、永井 道明、土手 慶五、加藤 雅也、小田 登、國田 英司、
香川 英介、山根 彩、東原 佑、竹内 有則、土谷 朱子

R08 当院における肺塞栓症例の検討

独立行政法人国立病院機構 福山医療センター 循環器内科

大羽 輝、梶川 隆、池田 昌絵、廣田 稔

10:05～10:45 研修医奨励賞3

座長：上田 浩徳／笠原 尚

- R09 若年男性に発症した高度左室収縮能低下に伴い多発左室内血栓およびネフローゼ症候群を呈した症例

広島市立安佐市民病院

塩田 大成、國田 英司、土手 慶五、加藤 雅也、小田 登、香川 英介、
永井 道明、山根 彩、東原 佑、竹内 有則、土谷 朱子

- R10 抗凝固薬内服中に消化管出血をきたし、抗血栓薬中止後に左心室内血栓を認めた心不全の一例

¹倉敷中央病院 教育研修部、²倉敷中央病院 循環器内科

松下 俊輔¹、三浦 勝也²、大家 理伸²、島田 健晋²、天野 秀生²、久保 俊介²、
尾崎 正知²、吉野 充²、三宅 剛司²、川瀬 裕一²、大橋 範之²、大鶴 優²、
田坂 浩嗣²、羽原 誠二²、多田 毅²、田中 裕之²、丸尾 健²、福 康志²、
加藤 晴美²、後藤 剛²、門田 一繁²

- R11 肺高血圧症並びに右心不全の病態を示した脚気心の一例

山口県立総合医療センター

陣内聡太郎、池田 安宏、田中 慎二、上田 亨、小田 隆将、中尾 文昭、
上山 剛、藤井 崇史

- R12 特発性拡張型心筋症による低左心機能、重症僧帽弁閉鎖不全症患者に対して僧帽弁置換術を施行した1例

¹倉敷中央病院 循環器内科、²倉敷中央病院 心臓血管外科

太田 千智¹、大家 理伸¹、岩崎慶一郎¹、大鶴 優¹、川瀬 裕一¹、多田 毅¹、
後藤 剛¹、藤井 理樹¹、加藤 晴美¹、福 康志¹、丸尾 健¹、田中 裕之¹、
羽原 誠二¹、田坂 浩嗣¹、大橋 範之¹、三宅 剛司¹、富永 磨²、島本 健²、
恒吉 裕史²、小宮 達彦²、門田 一繁¹

10:45～11:25 研修医奨励賞4

座長：中川 晃志／石田 万里

- R13 下方誘導にJ波を認め心室頻拍にて救急搬送され一症例

県立広島病院 循環器内科

魚谷悠希未、橋本 悠、三浦 史晴、武田 充史、中尾 裕貴、政田 賢治、
小田 望、卜部 洋司、山里 亮、光波 直也、上田 浩徳

- R14 徐脈頻脈症候群に対してカテーテルアブレーションを施行した急性心筋梗塞の一例

¹倉敷中央病院 教育研修部、²倉敷中央病院 循環器内科

坂東 遼¹、小坂田皓平²、田坂 浩嗣²、門田 一繁²

- R15 心抑制型反射性失神の一例

¹マツダ株式会社マツダ病院 卒後臨床研修センター、

²マツダ株式会社マツダ病院 循環器内科

中村 岳夫¹、三保 成正²、住居晃太郎²、蓼原 太²、山本 佳征²、岩本 明倫²

- R16 突然の心肺停止で発症し、集学的治療で救命しえた心サルコイドーシスの一例

山口県立総合医療センター

矢野 泰健、上田 亨、田中 慎二、小田 隆将、中尾 文昭、上山 剛、
池田 安宏、藤井 崇史

11:25~12:15 研修医奨励賞5

座長：岡田 武規／古川 博史

R17 もやもや病併存の冠動脈3枝病変の症例に対し、IABP補助下 on pump CABGを施行した1例

¹松江赤十字病院 循環器内科、²松江赤十字病院 心臓血管外科

古原 聡¹、城田 欣也¹、井上 義明¹、石井 裕繁¹、三村 麻郎¹、赤坂 俊彦¹、
神谷 裕子¹、岩崎洋一郎¹、斎藤 雄平²

R18 迅速な診断で救命しえた梗塞後心破裂の一例

¹川崎医科大学 卒後臨床研修センター、²川崎医科大学 循環器内科、

³川崎医科大学 胸部心臓血管外科

厚東 識志¹、山田亮太郎²、久米 輝善²、古山 輝将²、今井孝一郎²、玉田 智子²、
福原 健三²、河村 愛²、周藤 泰章²、藤原 努²、円山 綾乃²、岡本 公志²、
神坂 恭²、笹平 彬貴²、根石 陽二²、種本 和雄³、上村 史朗²

R19 再発性の心原性塞栓症により2枝同時閉塞を来たし救命出来なかった1剖検例

¹国立病院機構 呉医療センター・中国がんセンター 臨床研修部、

²国立病院機構 呉医療センター・中国がんセンター 循環器内科

山田 美咲¹、杉野 浩²、兵頭 洋平²、宮本 翔伍²、原田 崇弘²、下永 貴司²、
木下 晴之²、市川 織絵²、岡 俊治²

R20 左冠動脈主幹部急性心筋梗塞の経過中に動静脈血栓が多発した一例

広島市立安佐市民病院

重原 幹生、土手 慶五、加藤 雅也、小田 登、國田 英司、香川 英介、
永井 道明、山根 彩、東原 佑、竹内 有則、土谷 朱子

R21 心筋梗塞後心尖部血栓への介入方針決定に心電図同期造影CTが有用であった一例

¹鳥取大学病院 卒後臨床センター、²鳥取大学医学部 病態情報内科学（第一内科）、

³鳥取大学医学部 器官再生外科（心臓血管外科）

木原 琢也¹、佐々木直子²、渡部 友視²、春木 伸彦²、大野原岳史³、原田 真吾³、
加藤 雅彦²、山本 一博²、西村 元延³

13:25~14:25 研修医奨励賞6

座長：大塚 雅也／遠藤 昭博

R22 急性心筋梗塞治療直後にcoved型心電図変化を呈し心室細動を発症した一例

¹国立病院機構 呉医療センター 臨床研修部、²国立病院機構 呉医療センター 循環器内科

吉田 里穂¹、下永 貴司²、兵頭 洋平²、宮本 翔伍²、原田 崇弘²、木下 晴之²、
市川 織絵²、岡 俊治²、杉野 浩²

R23 ST上昇型急性心筋梗塞症における冠動脈責任病変形態と血栓量の関係

津山中央病院 循環器内科

山口 聡美、柚木 佳、山中 俊明、遠藤 豊宏、森 久寿、難波 悠介、
吉村 真吾、安原健太郎、池田 悦子、井田 潤、岡 岳文

R24 エルゴノビン負荷後のアセチルコリン負荷にて誘発された冠攣縮性狭心症の一例

¹JR広島病院 教育研修部、²JR広島病院 循環器内科

松村 未来¹、大下 千景²、藤井 雄一²、上田 智広²、寺川 宏樹²

R25 トレッドミル運動負荷心電図にて判明した冠攣縮性狭心症の1症例

津山中央病院 心臓血管センター 循環器内科

大賀 勇輝、山中 俊明、遠藤 豊宏、森 久寿、難波 悠介、安原 健太郎、
吉村 真吾、池田 悦子、井田 潤、柚木 佳、岡 岳文

R26 冠攣縮による陳旧性心筋梗塞巣からの心室頻拍を疑った1例

¹岡山大学病院 卒後臨床研修センター、²岡山大学病院 循環器内科

澤田 覚¹、市川 啓之²、網岡 尚史²、大澤 和宏²、渡邊 敦之²、西井 伸洋²、
中村 一文²、森田 宏²、伊藤 浩²

R27 生体インピーダンス法が体液管理に有用であった心不全症例

広島市立病院機構 広島市立安佐市民病院

倉石 敦史、竹内 有則、土谷 朱子、東原 佑、山根 彩、永井 道明、
香川 英介、國田 英司、小田 登、加藤 雅也、土手 慶五

一般演題

第1会場

9:25～10:05 虚血性心疾患1

座長：那須 博司／吉田 俊伸

001 光干渉断層法でMultiple Plaque Erosionを観察し得た急性冠症候群の一例

川崎医科大学付属病院 循環器内科

笹平 彬貴、御領 豊、久米 輝善、神坂 恭、円山 綾乃、周藤 泰章、
藤原 努、岡本 公志、河村 愛、福原 健三、玉田 智子、古山 輝將、
今井孝一郎、山田亮太郎、根石 陽二、上村 史朗

002 再狭窄を繰り返す右冠動脈入口部病変に生体吸収性ポリマーエベロリムス溶出性ステントが有効であった1例

福山市民病院

石井 晶子、中濱 一、末丸 俊二、久保 元基、杉山 弘恭、鈴木 秀行、
藤田 慎平、荒井 靖典、内藤洋一郎、河村 浩平、水野 智文、赤井 弘明、
村上 周平

003 右冠動脈近位部の高度石灰化病変に対するアテレクトミーの際にローターワイヤーの断裂を来した1例

福山市民病院 循環器内科

河村 浩平、赤井 弘明、村上 周平、石井 晶子、水野 智文、荒井 靖典、
内藤洋一郎、鈴木 秀行、藤田 慎平、杉山 弘恭、久保 元基、末丸 俊二、
中濱 一

004 分岐部病変に対する第3世代Sirolimus溶出性ステントを用いたculotte stentingの初期・中期成績

倉敷中央病院

岡部 浩哉、久保 俊介、松下 和揮、桑山 明宗、三浦 勝也、大家 理伸、
島田 健晋、天野 秀生、三宅 剛司、川瀬 裕一、大橋 範之、大鶴 優、
田坂 浩嗣、羽原 誠二、多田 毅、田中 裕之、丸尾 健、福 康志、
加藤 晴美、後藤 剛、門田 一繁

005 当院でのIntravascular ultrasoundとOptical frequency domain imagingを併用した左主幹部病変の治療経験

倉敷中央病院 循環器内科

三浦 勝也、多田 毅、松下 和揮、桑山 明宗、大家 理伸、島田 健晋、
天野 秀生、久保 俊介、大鶴 優、羽原 誠二、田中 裕之、福 康志、
後藤 剛、門田 一繁

10:05～10:45 虚血性心疾患2

座長：竹林 秀雄／森島 信行

006 急性心筋梗塞後に心室中隔断裂および心室中隔穿孔を合併した1例

広島市立安佐市民病院

國田 英司、土谷 朱子、竹内 有則、東原 佑、山根 彩、永井 道明、
香川 英介、小田 登、加藤 雅也、土手 慶五

007 DAPT休薬により第2世代DESに超遅発性ステント血栓症を発症した一症例

徳山中央病院 循環器内科

田中 正和、原田 希、木下 奈津、竹中 仁、加藤 孝佳、岩見 孝景、
分山 隆敏、小川 宏

008 PCIを施行した安定労作性狭心症患者におけるプラスグレルとクロピドグレルの血小板凝集抑制効果の相違

岡山赤十字病院 循環器内科

津島 龍、佐藤 哲也、溝渕 朝子、田中 正道、福家聡一郎、湯本 晃久、
齋藤 博則

009 第二世代薬剤溶出性ステントにおける超遅発性ステント血栓症の検討

倉敷中央病院 循環器内科

生田 幸代、天野 秀生、松下 和揮、桑山 明宗、三浦 勝也、大家 理伸、
村井 亮介、島田 健晋、久保 俊介、三宅 剛司、大橋 範之、大鶴 優、
田坂 浩嗣、羽原 誠二、多田 毅、田中 裕之、丸尾 健、福 康志、
加藤 晴美、後藤 剛、門田 一繁

010 1.5テスラMR装置と32チャンネルコイルを用いた冠動脈評価の臨床成績

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院 循環器内科

三宅 剛司、門田 一繁、生田 幸代、佐野 新、三浦 勝也、吉野 充、
川瀬 裕一、大橋 範之、大鶴 優、田坂 浩嗣、羽原 誠二、多田 毅、
田中 裕之、丸尾 健、福 康志、加藤 晴美、藤井 理樹、後藤 剛

10:45～11:25 虚血性心疾患3

座長：分山 隆敏／吉川 昌樹

011 左主幹部心筋梗塞の一例

倉敷中央病院 循環器内科

宮嶋 啓伍、畑 玲央、多田 毅、松下 和揮、桑山 明宗、三浦 勝也、
大家 理伸、島田 健晋、天野 秀生、久保 俊介、川瀬 裕一、大橋 範之、
大鶴 優、田坂 浩嗣、羽原 誠二、田中 裕之、丸尾 健、福 康志、
加藤 晴美、後藤 剛、門田 一繁

012 左冠動脈主幹部に巨大血栓透亮像を認めた急性心筋梗塞の一例

広島市民病院 循環器内科

竹本 創、臺 和興、駿河 宗城、池上 雄紀、小林 佑輔、中尾 恭久、
檜垣 忠直、大井 邦臣、川瀬 共治、中間 泰晴、末成 和義、西岡 健司、
大塚 雅也、酒井 孝裕、嶋谷 祐二、正岡 佳子、塩出 宣雄

013 PCPS離脱前後の体液管理にトルバプタンが著効したIMTを責任病変とする心原性ショックの一例

¹山口大学大学院医学系研究科 器官病態内科学、²山口大学医学部附属病院 第二内科

赤瀬 英亮¹、内海 仁志²、縄田 純也¹、福井 剛¹、周布 陽子¹、西村 傑²、
福田 昌和²、大野 誠²、吉賀 康裕²、山田寿太郎²、岡村 誉之²、小林 茂樹²、
矢野 雅文²

014 左冠動脈主幹部に対する薬剤溶出性ステントを用いたcross-over single stentingにおける留置部位の影響

倉敷中央病院 循環器内科

佐野 新、久保 俊介、畑 玲央、松下 和揮、桑山 明宗、大家 理伸、
島田 健晋、三浦 勝也、天野 秀生、大鶴 優、羽原 誠二、多田 毅、
田中 裕之、福 康志、後藤 剛、門田 一繁

015 左冠動脈主幹部へのステント留置においてステントサイズで治療結果が異なった対照的な2症例

山口大学大学院医学系研究科 器官病態内科学

藤村 達大、岡村 誉之、山田寿太郎、小田 哲郎、望月 守、立石 裕樹、
内海 仁志、西村 傑、南野 巧真、福井 剛、中村 吉秀、芝 翔、
縄田 純也、矢野 雅文

11:25~12:13 虚血性心疾患4

座長：佐藤 哲也／三保 成正

016 冠攣縮にアレルギーの関与が疑われた十代男性の一例

¹島根大学 医学部 附属病院 循環器内科、²島根大学 医学部附属病院 検査部

石倉 正大¹、遠藤 昭博¹、伊藤 新平¹、古志野海人¹、岡崎 浩一¹、森田 祐介¹、
朴 美仙¹、香川 雄三¹、大内 武¹、渡邊 伸英¹、佐藤 寛大¹、山口 一人¹、
岡田 大司¹、吉富 裕之²、田邊 一明¹

017 たこつぼ型心筋症と冠攣縮性狭心症（VSA）の鑑別を要した一例

山口県立総合医療センター 循環器内科

田中 慎二、藤井 崇史、池田 安宏、上山 剛、中尾 文昭、小田 隆将、
上田 亨

018 副腎不全を合併した薬剤抵抗性冠攣縮性狭心症に対してステロイド投与が奏功した一例

県立広島病院 循環器内科

武田 充史、中尾 裕貴、橋本 悠、政田 賢治、小田 望、卜部 洋司、
山里 亮、光波 直也、三浦 史晴、上田 浩徳

019 産褥期の若年女性に生じた胸痛

あかね会土谷総合病院 心臓血管センター 循環器内科

森田 裕一、藤井 裕人、植田 裕介、山根 健一、藤原 舞、三宅 康子、
永元 康嗣、三戸 森児、渡 雄一郎、為清 博道、沖本 智和、村岡 裕司、
林 康彦

020 新規選択的XO阻害薬Topiroxostatが急性虚血再灌流障害に及ぼす影響

¹鳥取大学 大学院 医学系研究科 再生医療学、²鳥取大学 医学部 病態情報内科学、

³鳥取大学 医学部 臨床検査医学

丹野 翔伍¹、山本堅志郎¹、足立 真彩¹、三明淳一郎²、荻野 和秀³、白吉 安昭¹、
山本 一博²、久留 一郎¹

021 脂肪幹細胞シート移植による実験的虚血性心不全改善効果はβ遮断薬により増強できるか？

¹鳥取大学大学院 医学系研究科 再生医療学、²鳥取大学 医学部 臨床検査医学、

³鳥取大学 医学部 病態情報内科学

足立 真彩¹、山本堅志郎¹、荻野 和秀²、白吉 安昭¹、山本 一博³、久留 一郎¹

第2会場

8:45～9:17

末梢血管1

座長：山本 桂三／加藤 雅也

022 下肢EVT後、麻痺性イレウス、虚血性腸炎を合併した上腸間膜動脈狭窄の1症例

津山中央病院 心臓血管センター 循環器内科

山中 俊明、難波 悠介、遠藤 豊宏、森 久寿、安原健太郎、吉村 真吾、
池田 悦子、井田 潤、柚木 佳、岡 岳文

023 3度のEVTで救肢しえた末梢run-off不良であるALIの1例

福山市民病院 循環器内科

赤井 弘明、中濱 一、村上 周平、石井 晶子、水野 智文、河村 浩平、
内藤洋一郎、荒井 靖典、藤田 慎平、鈴木 秀行、杉山 弘恭、久保 元基、
末丸 俊二

024 大伏在静脈グラフトの入口部狭窄の選択にLEONIS Movaが有効であった一例

広島市立安佐市民病院

土谷 朱子、香川 英介、土手 慶五、加藤 雅也、小田 登、國田 英司、
山根 彩、東原 佑、竹内 有則

025 総腸骨動脈の高度石灰化狭窄病変へのステントが内腸骨動脈方向に開いてしまった症例

下関市立市民病院

辛島 詠士、梶山 渉太、與田 俊介、安田 潮人、金子 武生

9:17～9:49

末梢血管2

座長：羽原 誠二／中濱 一

026 大動脈縮窄症に伴う側副血行路の肋間動脈瘤に対して血管内治療を施行した1例

山口大学 大学院器官病態外科学 心臓外科

鈴木 亮、美甘 章仁、池下 貴広、中村 玉美、高橋 雅弥、濱野 公一

027 フレイルと左室肥大が急速に悪化の一途を辿った重症ASOの1例

岡山大学病院 循環器内科

戸田 洋伸、大塚 寛昭、江尻健太郎、中川 晃志、渡邊 敦之、三好 亨、
西井 伸洋、中村 一文、森田 宏、伊藤 浩

028 重度低心機能患者に発症した重症下肢虚血、糖尿病性足壊疽に対し集学的治療を行った一例

¹岡山大学循環器内科、²岡山大学 心臓血管外科

大塚 寛昭¹、戸田 洋伸¹、江尻健太郎¹、奥山 倫弘²、大澤 晋²、渡邊 敦之¹、
三好 亨¹、西井 伸洋¹、中村 一文¹、森田 宏¹、伊藤 浩¹

029 膝窩動脈瘤の亜急性血栓閉塞に対してバルーン拡張および抗凝固薬で治療した1例

独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター 循環器内科

岩野 貴之、辻 真弘、西原 大裕、内藤 貴教、重歳 正尚、田淵 勲、
下川原裕人、宮地 晃平、宗政 充、松原 広己

13:25~13:57 末梢血管3

座長：城田 欣也／戸田 洋伸

030 浅大腿動脈に対するバルーン拡張後における、重度の解離の予測因子

倉敷中央病院 循環器内科

島田 健晋、羽原 誠二、三浦 勝也、大家 理伸、天野 秀生、久保 俊介、
大鶴 優、多田 毅、田中 裕之、福 康志、後藤 剛、門田 一繁

031 大動脈弓分枝の狭窄が進行し左総頸動脈にステント留置を行なったWilliams症候群の1例

倉敷中央病院

森 秀洋、河本 敦、小寺 達朗、上田 和利、荻野 佳代、林 知宏、
脇 研自、新垣 義夫

032 血行再建後の末梢動脈疾患（PAD）患者に対する歩数計を用いた非監視下運動療法の効果

¹岡山大学病院 循環器内科、²岡山大学病院 リハビリテーション部、³岡山大学病院 看護部

中山 理絵¹、木元 朗²、三原 直子³、遠部 千尋³、伊藤 真理³、戸田 洋伸¹、
高谷 陽一¹、谷山真規子¹、三好 亨¹、伊藤 浩¹

033 腎動脈、外腸骨動脈に病変をきたした線維筋性異形成の一例

倉敷中央病院 循環器内科

生田 幸代、松下 和揮、桑山 明宗、三浦 勝也、大家 理伸、村井 亮介、
島田 健晋、天野 秀生、久保 俊介、川瀬 裕一、大橋 範之、大鶴 優、
田坂 浩嗣、羽原 誠二、多田 毅、田中 裕之、丸尾 健、福 康志、
加藤 晴美、後藤 剛、門田 一繁

13:57~14:37 その他疾患

座長：岡 岳文／寺川 宏樹

034 静脈内腫瘍から診断に至った甲状腺未分化癌の一例

広島市立安佐市民病院

東原 佑、土谷 朱子、竹内 有則、山根 彩、永井 道明、香川 英介、
國田 英司、小田 登、加藤 雅也、土手 慶五

035 虚血性脳卒中後の経食道心エコーは急ぐべきか？

広島市立安佐市民病院 循環器内科

香川 英介、土手 慶五、加藤 雅也、佐々木正太、小田 登、國田 英司、
永井 道明、東原 佑、竹内 有則、土谷 朱子

036 院外心肺停止搬送例における循環器疾患既往と転帰についての検討

倉敷中央病院 循環器内科

村井 亮介、三浦 勝也、大家 理伸、島田 健晋、天野 秀生、久保 俊介、
尾崎 正知、吉野 充、三宅 剛司、川瀬 裕一、大橋 範之、大鶴 優、
田坂 浩嗣、羽原 誠二、多田 毅、田中 裕之、丸尾 健、福 康志、
加藤 晴美、後藤 剛、門田 一繁

037 受診経路により原発性アルドステロン症患者の臨床所見は異なる

JR広島病院 循環器内科

藤井 雄一、大下 千景、上田 智広、寺川 宏樹

038 治療中高血圧患者における尿酸代謝へのイルベサルタンの効果：後ろ向き観察研究

¹藤井政雄記念病院循環器内科、²虎の門病院循環器センター内科、³山陰労災病院循環器科、
⁴鳥取大学医学部地域医療学、⁵鳥取大学医学部臨床検査学、⁶鳥取大学医学部病態情報内科学、
⁷鳥取大学大学院医学系研究科再生医療学分野
宮崎 聡¹、桑原 政成²、水田栄之助³、太田原 顕³、浜田 紀宏⁴、荻野 和秀⁵、
加藤 雅彦⁶、山本 一博⁶、久留 一郎⁷

14:37～15:09 心内膜炎

座長：正岡 佳子／福木 昌治

039 大動脈弁輪膿瘍を合併した大動脈弁位人工弁感染に対してFreestyle弁を用い大動脈基部置換術を施行した1例

心臓病センター榊原病院 心臓血管外科

橋 仁志、平岡 有努、石田 敦久、田村健太郎、都津川敏範、近沢 元太、
吉鷹 英範、坂口 太一

040 疣腫により左室流入障害をきたした人工弁感染の1例

下関市立市民病院

西 健斗、栗栖 和宏、木村 聡、上野 安孝

041 僧帽弁位感染性心内膜炎に対する弁形成術後遠隔期に異なる菌によって再発した一例

¹鳥取大学医学部附属病院 病態情報内科学、²鳥取大学医学部附属病院 器官再生外科学
網崎 良佑¹、春木 伸彦¹、平井 雅之¹、柳原 清孝¹、松原 剛一¹、衣笠 良治¹、
加藤 雅彦¹、山本 一博¹、岸本 諭²、中村 嘉伸²、西村 元延²

042 急性心膜炎が診断の契機となった全身性エリテマトーデス（SLE）の一例

倉敷中央病院 循環器内科

吉田 賢大、村井 亮介、佐野 新、羽原 誠二、門田 一繁

第3会場

10:45～11:25 心筋炎・心筋症1

座長：寺坂 律子／池田 安宏

043 膀胱癌との関連が示唆された好酸球性心筋炎の1例

津山中央病院 循環器内科

遠藤 豊宏、難波 悠介、山中 俊明、森 久寿、吉村 真吾、安原健太郎、
池田 悦子、井田 潤、柚木 佳、岡 岳文

044 食道癌に対する化学放射線療法後に晩期心臓障害による治療抵抗性心不全に至った一例

鳥取大学医学部 病態情報内科学

矢田貝菜津子、春木 伸彦、平井 雅之、柳原 清孝、衣笠 良治、加藤 雅彦、
山本 一博

045 急性心筋炎の経過中にST上昇を伴う冠れん縮性狭心症を合併した一例

松江市立病院 循環器内科

大嶋 丈史、岡田 清治、三浦 重禎、山口 直人、太田 庸子、広江貴美子、
太田 哲郎

046 頸椎損傷慢性期に発症したタコツボ型心筋症の一例

¹島根大学医学部附属病院 循環器内科、²島根大学医学部附属病院 検査部

大内 武¹、石倉 正大¹、古志野海人¹、山口 一人¹、岡崎 浩一¹、森田 祐介¹、
朴 美仙¹、香川 雄三¹、岡田 大司¹、伊藤 新平¹、佐藤 寛大¹、渡邊 伸英¹、
遠藤 昭博¹、吉富 裕之^{1,2}、田邊 一明¹

047 ペースメーカーリード抜去術後に発症した、たこつぼ心筋症の1例

岡山大学循環器内科

寺西 仁、西井 伸洋、宮本 真和、森本 芳正、川田 哲史、更科 俊洋、
高谷 陽一、杜 徳尚、中川 晃志、赤木 達、吉田 賢司、谷山真規子、
渡邊 敦之、三好 亨、赤木 禎治、中村 一文、森田 宏、伊藤 浩

11:25～12:05 心筋炎・心筋症2

座長：名尾 朋子／加藤 雅彦

048 Multi modalityにより評価した心アミロイドーシスの1例

¹島根大学医学部内科学講座第四、²島根大学附属病院検査部

古志野海人¹、伊藤 新平¹、山口 一人¹、石倉 正大¹、森田 祐介¹、岡崎 浩一¹、
朴 美仙¹、香川 雄三¹、岡田 大司¹、佐藤 寛大¹、大内 武¹、渡邊 伸英¹、
遠藤 昭博¹、吉富 裕之²、田邊 一明¹

049 重症糖尿病を契機に発見されたミトコンドリア心筋症の一例

山口大学医学部附属病院 第二内科

長澤 仁明、奥田 真一、山田寿太郎、矢野 雅文

050 肥満心筋症に伴う心機能低下が減量とともに著明に改善した若年高度肥満の一例

¹山口大学大学院医学系研究科 器官病態内科学、²山口大学医学部附属病院 超音波センター

小室あゆみ¹、和田 靖明¹、周布 陽子¹、濱田 頼臣¹、前田 貴子¹、奥田 真一¹、
田中 伸明¹、矢野 雅文¹、有吉 亨²

051 心房細動治療により血行動態の改善を認めた左室緻密化障害合併低左心機能心房中隔欠損症の一例

¹山口大学大学院 医学系研究科 器官病態内科学、

²JA山口厚生連 周東総合病院 循環器内科

藤井 翔平^{1,2}、吉賀 康裕¹、立石 裕樹¹、藤村 達大¹、石口 博智¹、福田 昌和¹、
岡村 啓之¹、山田寿太郎¹、奥田 真一¹、和田 靖明¹、弘本 光幸²、矢野 雅文¹

052 α トロポミオシンに遺伝子異常を認めた家族性肥大型心筋症の一家系

山口大学医学部付属病院 器官病態内科学

縄田 純也、小林 茂樹、久岡美奈子、福田 昌和、大野 誠、藤村 達大、
内海 仁志、立石 裕樹、望月 守、小田 哲郎、奥田 真一、矢野 雅文

13:25～13:57 大動脈1

座長：片山 桂次郎／齋藤 雄平

053 腹部大動脈瘤－下大静脈穿破に対してステントグラフト内挿術を施行した1例

¹岡山赤十字病院 心臓血管外科、²岡山医療センター 心臓血管外科

中西 浩之¹、藤本 竜平¹、中井 幹三²

054 腎動脈下腹部大動脈瘤に対してsnorkel techniqueと瘤内塞栓を用いて治療を完遂した1例

津山中央病院 心臓血管外科

剣持 礼子、久保 陽司、松本 三明

055 当院での腹部大動脈瘤治療の現状

独立行政法人国立病院機構岩国医療センター 心臓血管外科

木佐森永理、大谷 悟、山本 剛、錦 みちる、山田 有紀、松本泰一郎

056 当院における腹部大動脈ステントグラフト内挿術の中・長期成績

公益財団法人 大原記念倉敷中央病院機構 倉敷中央病院

陣野 太陽、小宮 達彦、島本 健、野中 道仁、境 次郎、北浦 順也、
金子 寛行、古市 吉真、富永 磨、白神 拓、菅谷 篤史、平山 雅弥

13:57～14:29 大動脈2

座長：衛藤 弘城／佐伯 宗弘

057 バルサルバ洞動脈瘤破裂に伴い循環不全を来したと考えられた1例

広島大学大学院医歯薬保健学研究科 循環器内科学

高永甲有司、宇都宮裕人、須澤 仁、原田 侑、木下 未来、日高 貴之、
木原 康樹

058 EVAR後遠隔期にステントグラフト脚migrationによるエンドリーク再燃からAAA破裂を来した1例

心臓病センター榊原病院

阪本 浩助、近沢 元太、平岡 有努、田村健太郎、都津川敏範、津島 義正、
坂口 太一、吉鷹 秀範

059 ステロイドが著効したIgG4関連動脈周囲炎の1例

市立三次中央病院 循環器内科

小畠 啓史、田中 幸一、山路 貴之、三上 慎祐、小林 賢悟、田中 玄紀

060 AFXによるInfra-renal AAA の治療成績

福山市民病院

藤井 泰宏、枝木 大治、栗山 充仁、喜岡 幸央

14:29～15:01 大動脈3

座長：森景 則保／吉鷹 秀範

061 Complicated B型大動脈解離に対するステントグラフト治療

国立病院機構 岩国医療センター 心臓血管外科

山本 剛、大谷 悟、錦 みちる、山田 有紀、松本泰一郎、木佐森永理

062 急性大動脈解離による腹部malperfusionに対して上腸間膜動脈バイパス、TEVARを施行した一例

倉敷中央病院 心臓血管外科

菅谷 篤史、小宮 達彦、島本 健、野中 道仁、境 次郎、北浦 順也、
金子 寛行、古市 吉真、陣野 太陽、富永 磨、白神 拓、平山 雅弥

063 胸部解離性大動脈瘤への上行弓部置換＋オープンステント術後の両側腎動脈閉塞に抗凝固療法が奏功した一例

倉敷中央病院 心臓血管外科

平山 雅弥

064 開胸手術における胸骨固定法—ワイヤー離断、胸骨離開を防ぐために—

倉敷中央病院 心臓血管外科

北浦 順也、小宮 達彦、島本 健、野中 道仁、境 次郎、金子 寛行、
古市 吉真、陣野 太陽、富永 磨、白神 拓、菅谷 篤史、平山 雅弥

第4会場

14:25～14:57 肺

座長：根石 陽二／小川 愛子

065 部分肺静脈灌流異常症を有する肺高血圧症の1例

倉敷中央病院 循環器内科

大家 理伸、畑 玲央、小坂田皓平、川瀬 裕一、多田 毅、福 康志、
門田 一繁

066 肺動脈性肺高血圧症に合併した巨大肺動脈瘤に人工血管置換術を施行した一例

¹岡山大学医歯薬学総合研究科 循環器内科、²岡山ろうさい病院 循環器内科、

³岡山大学医歯薬学総合研究科 心臓血管外科

大塚 寛昭¹、中村 一文¹、小橋宗一郎²、江尻健太郎¹、赤木 達¹、渡邊 敦之¹、
西井 伸洋¹、三好 亨¹、森田 宏¹、笠原 真悟³、伊藤 浩¹

067 対照的な転帰を辿った重症肺血栓塞栓症の2症例

福山市民病院 循環器内科

村上 周平、中濱 一、赤井 弘明、石井 晶子、水野 智文、河村 浩平、
荒井 康則、内藤洋一郎、藤田 慎平、鈴木 秀行、杉山 弘恭、久保 元基、
末丸 俊二

068 潰瘍性大腸炎に対する漢方薬青黛（せいたい）による肺高血圧症は治癒可能である

¹国家公務員共済組合連合会 呉共済病院、²広島大学大学院 循環器内科学

岡本 大輝¹、土肥 由裕¹、折田 裕一¹、平位 有恒¹、友弘 康之¹、木原 康樹²

14:57～15:21 静脈

座長：宗政 充／小田 強

069 深部静脈血栓症に急性下肢動脈閉塞を合併し、その後の治療に難渋した一例

国立病院機構 岩国医療センター

山田 隆史、飯田 倫公、中島 充貴、森 淳史、横濱 ふみ、和田 匡史、
長谷川大爾、川本 健治、田中屋真智子、片山 祐介、櫻木 悟

070 Catheter-directed thrombolysis (CDT)が効果なかった深部静脈血栓症の一例

JR広島病院 循環器内科

上田 智広、藤井 雄一、大下 千景、寺川 宏樹

071 永久ペースメーカー留置後、左上腕静脈閉塞を来し、抗血栓薬により良好な経過を得た1例

庄原赤十字病院 循環器内科

板倉 文乃、渡邊 紀晶、岩崎 年高、奥原宏一郎

第5会場

8:45～9:25 不整脈1

座長：吉賀 康裕／中野 由紀子

072 僧帽弁輪を旋回する難治性心房粗動に対してmarshall vein chemical ablationが奏効した一例

倉敷中央病院 循環器内科

大橋 範之、田坂 浩嗣、畑 玲央、尾崎 正知、吉野 充、藤井 理樹、
門田 一繁

073 当院における発作性心房細動に対するCryo Balloon Ablationの長期成績

倉敷中央病院 循環器内科

吉野 充、田坂 浩嗣、畑 玲央、尾崎 正知、大橋 範之、藤井 理樹、
門田 一繁

074 Hot balloonアブレーション後に再発した発作性心房細動に対して2nd sessionのアブレーションを施行した二例

倉敷中央病院 循環器内科

尾崎 正知、田坂 浩嗣、畑 玲央、吉野 充、大橋 範之、藤井 理樹、
門田 一繁

075 心房中隔欠損症のカテーテル閉鎖術後に再発した心房細動に対しデバイスを穿刺して肺静脈隔離を施行した一例

岡山大学病院 循環器内科

網岡 尚史、中川 晃志、森本 芳正、高谷 陽一、渡邊 敦之、赤木 禎治、
森田 宏、伊藤 浩

076 僧帽弁形成術・Maze術後の心房頻拍に対して、Rhythmiaを用いてmappingを行い、RFCAを施行した1例

岡山大学 循環器内科

森本 芳正、渡邊 敦之、川田 哲史、宮本 真和、寺西 仁、中川 晃志、
西井 伸洋、中村 一文、森田 宏、伊藤 浩

9:25～10:05 不整脈2

座長：田坂 浩嗣／末成 和義

077 冠静脈洞入口部閉塞を伴ったWPW症候群の1例

¹山口大学 大学院医学系研究科 器官病態内科学、

²山口大学 大学院医学系研究科 保健学科

石口 博智¹、上山 剛¹、吉賀 康裕¹、大野 誠¹、福田 昌和¹、文本 朋子¹、
清水 昭彦²、矢野 雅文¹

078 肺静脈隔離術1年後に出現した左房-肺静脈マクロリエントリー性心房頻拍の一例

¹山口大学大学院 医学系研究科 器官病態内科学、

²山口大学大学院 医学系研究科 保健学科

福田 昌和¹、吉賀 康裕¹、清水 昭彦²、大野 誠¹、石口 博智¹、矢野 雅文¹

- 079 植込み後、数年の経過を経て心腔内側にリードが牽引され、右房内でループ形成したVDDリード不全の一例

国立病院機構 岩国医療センター

横濱 ふみ、和田 匡史、飯田 倫公、山田 隆史、中島 充貴、森 淳史、
長谷川大爾、川本 健治、田中屋真智子、片山 祐介、櫻木 悟

- 080 植込み型心臓モニタ（Reveal LINQ）により早期に発作性心房細動を検出し得た潜在性脳梗塞の一例

山口県立総合医療センター 循環器内科

久岡 雅弘、上山 剛、田中 慎二、上田 亨、小田 隆将、中尾 文昭、
池田 安宏、藤井 崇史

- 081 DOAC減量基準境界領域の症例において低用量内服中に心原性脳梗塞を発症した非弁膜症性心房細動の2例

独立行政法人国立病院機構岩国医療センター循環器内科

森 淳史、飯田 倫公、山田 隆史、森 淳史、横濱 ふみ、和田 匡史、
長谷川大爾、川本 健治、田中屋真智子、片山 祐介、櫻木 悟

10:05～10:45 心不全1

座長：多田 毅／日高 貴之

- 082 左房内に高度のもやもやエコーを呈し、血栓コントロールに難渋する低心機能の1例

¹島根県立中央病院 循環器科、²島根県立中央病院 臨床検査部、³江口内科医院

安田 優¹、吉田 雅昭¹、牛尾 弘美²、秋風 清香²、下垣真紀子²、江口 春樹³、
鈴木 慎介¹、井本 宏治¹、園山 一彦¹、河端 哲也¹、小田 強¹

- 083 胞状奇胎にともなう異常hCG高値により心不全を来した1例

広島赤十字・原爆病院

古谷 元樹、加世田俊一、岡田 武規、大橋 紀彦、出井 尚美、中野 貴之

- 084 治療に難渋した薬剤性心筋症の1例

津山中央病院 循環器内科

森 久寿、山中 俊明、遠藤 豊宏、難波 悠介、吉村 真吾、安原健太郎、
池田 悦子、柚木 佳、井田 潤、岡 岳文

- 085 急性非代償性心不全患者におけるトルバプタン使用による高ナトリウム血症の予測因子の検討

倉敷中央病院 循環器内科

畑 玲央、川瀬 裕一、三浦 勝也、天野 秀生、久保 俊介、尾崎 正知、
吉野 充、三宅 剛司、大橋 範之、大鶴 優、田坂 浩嗣、羽原 誠二、
多田 毅、田中 裕之、丸尾 健、福 康志、加藤 晴美、藤井 理樹、
後藤 剛、門田 一繁

- 086 心不全治療におけるトルバプタンの有効性と左房拡大の有無に対する比較検討

下関市立市民病院

梶山 渉太、辛島 詠士、與田 俊介、安田 潮人、金子 武生

10:45~11:25 心不全2

座長：小林 茂樹／谷山 真規子

087 虚血性心不全を発症した家族性高コレステロール血症への治療介入

¹広島大学 卒後臨床研修センター、²広島大学 循環器内科

渡邊 信寛¹、栗栖 智²、西樂 顕典²、宇都宮裕人²、石橋 堅²、北川 知郎²、
日高 貴之²、福田 幸弘²、中野由紀子²、山本 秀也²、木原 康樹²

088 慢性心不全の増悪により入院加療を行った患者における退院後1年間の予後経過の検討

広島市立安佐市民病院 循環器内科

小田 登、土谷 朱子、竹内 有則、東原 佑、山根 彩、永井 道明、
香川 英介、國田 英司、佐々木正太、加藤 雅也、土手 慶五

089 左室駆出率が低下した心不全（HFrEF）と左室駆出率が保たれた心不全（HFpEF）の予後の違い

倉敷中央病院 循環器内科

多田 毅、川瀬 裕一、畑 玲央、門田 一繁

090 当院における僧帽弁閉鎖不全合併心不全の実情

倉敷中央病院 循環器内科

川瀬 裕一、畑 玲央、多田 毅、門田 一繁

091 心不全における細胞外水分比の測定意義の検討

津山中央病院 循環器内科

難波 悠介、柚木 佳、遠藤 豊宏、森 久寿、吉村 真吾、安原健太郎、
山中 俊明、池田 悦子、井田 潤、岡 岳文

11:25~12:05 弁膜症1

座長：島本 健／西岡 健司

092 SAPIEN3での経カテーテル的大動脈弁植え込み術中に弁輪部破裂を来した一例

倉敷中央病院 循環器内科

天野 秀生、桑山 明宗、久保 俊介、大鶴 優、丸尾 健、福 康志、
後藤 剛、門田 一繁

093 Shaggy aortaを合併した重症大動脈弁狭窄症に対するTA-TAVIの一例 –ガイドワイヤー操作の工夫–

鳥取大学医学部附属病院 心臓血管外科

仁井 陸冬、大野原岳史、原田 真吾、角 尚紀、笹見 強志、倉敷 朋弘、
岸本 諭、岸本祐一郎、藤原 義和、中村 嘉伸、西村 元延

094 SAPIEN XTとSAPIEN 3の留置後の形状に与えるバルーン容量の影響

倉敷中央病院 循環器内科

桑山 明宗、福 康志、大家 理伸、天野 秀生、久保 俊介、三宅 剛司、
大鶴 優、丸尾 健、後藤 剛、門田 一繁

095 SapienXTとSapien3による弁周囲逆流重症度の比較

¹倉敷中央病院 循環器内科、²倉敷中央病院 心臓血管外科

丸尾 健¹、天野 秀生¹、久保 俊介¹、桑山 明宗¹、大鶴 優¹、島本 健²、
福 康志¹、後藤 剛¹、門田 一繁¹

- 096 食道癌術後、胃管胸骨前再建を行われた患者においてアプローチ法に工夫を要した僧帽弁形成術の一例

公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院 心臓血管外科

白神 拓、小宮 達彦、島本 健、野中 道仁、境 次郎、北浦 順也、
金子 寛行、古市 吉真、陣野 太陽、富永 磨、菅谷 篤史、平山 雅弥

13:25~14:05 弁膜症2

座長：福 康志／西村 元延

- 097 Safari Wireの両側乳頭筋圧迫による僧帽弁離開の様子が3D経食道超音波で詳細に観察出来た症例

¹広島市立 広島市民病院 循環器内科、²広島市立 広島市民病院 心臓血管外科

西岡 健司¹、迫田 直也²、檜垣 忠直¹、大井 邦臣¹、臺 和興¹、大塚 雅也¹、
佐伯 宗弘²、柚木 継二²、正岡 佳子¹、吉田 英生²、塩出 宣雄¹

- 098 腹部・左鎖骨下動脈狭窄屈曲を伴う大動脈弁狭窄症に鎖骨上左鎖骨下動脈アクセスでのEvoluteRの一例

¹倉敷中央病院 心臓血管外科、²倉敷中央病院 循環器内科

島本 健¹、福 康志²、丸尾 健²、後藤 剛²、古市 吉真¹、久保 俊介²、
大家 理伸²、桑山 明宗²、天野 秀生²、小宮 達彦¹

- 099 経カテーテル大動脈弁留置術後の血栓弁の2例

倉敷中央病院 心臓血管外科

境 次郎、小宮 達彦、島本 健、野中 道仁、北浦 順也、金子 寛行、
古市 吉真、陣野 太陽、富永 磨、白神 拓、菅谷 篤史、平山 雅弥

- 100 コアバルブEvolut Rを留置し経時的に人口弁周囲逆流の減少を認めた一例

¹山口大学大学院医学系研究科 器官病態内科学、

²山口大学大学院医学系研究科 器官病態外科学

南野 巧真¹、岡村 啓之¹、小田 哲郎¹、立石 裕樹¹、和田 靖明¹、濱田 頼臣¹、
小室あゆみ¹、福井 剛¹、西村 傑¹、藤村 達大¹、内海 仁志¹、望月 守¹、
名尾 朋子¹、山田寿太郎¹、小林 茂樹¹、美甘 章仁²、濱野 公一²、矢野 雅文¹

- 101 心房中隔欠損カテーテル閉鎖術 ～ device選択に関する一考察～

倉敷中央病院 小児科

河本 敦、森 秀洋、上田 和利、荻野 佳代、林 知宏、脇 研白、
新垣 義夫

14:05~14:37 不整脈3

座長：森田 宏／井上 義明

- 102 運動負荷試験中にwide QRS tachycardiaを来したBrugada症候群の1例

岡山大学 医学部 循環器内科

宮本 真和、森田 宏、森本 芳正、三好 章仁、川田 哲史、寺西 仁、
中川 晃志、西井 伸洋、渡邊 敦之、中村 一文、伊藤 浩

103 10年の経過で特発性心室細動の原因がBrugada症候群と判明した1例

県立広島病院 循環器内科

中尾 裕貴、三浦 史晴、武田 充史、橋本 悠、政田 賢治、小田 望、
卜部 洋司、山里 亮、光波 直也、上田 浩徳

104 Full stomach testによってST部分に階段状の変化をきたしたBrugada症候群の1例

徳山中央病院

加藤 孝佳、分山 隆敏、岩見 孝景、原田 希、田中 正和、平塚 淳史、
竹中 仁、木下 奈津、小川 宏

105 Brugada症候群におけるVF stormに対してアミオダロンが著効した1例

広島市立広島市民病院

中尾 恭久、末成 和義、駿河 宗城、小林 佑輔、池上 雄紀、竹本 創、
檜垣 忠直、大井 邦臣、臺 和興、中間 泰晴、川瀬 共治、西岡 健司、
酒井 孝裕、大塚 雅也、嶋谷 祐二、正岡 佳子、塩出 宣雄

14:37~15:09 不整脈4

座長：池田 悦子／村上 充

106 先天性QT延長症候群に伴うVf stormを来した1例

¹岡山大学 医学部 循環器内科、²岡山大学 医学部 小児循環器科

宮本 真和¹、森田 宏¹、栄徳 隆裕²、森本 芳正¹、三好 章仁¹、川田 哲史¹、
寺西 仁¹、中川 晃志¹、西井 伸洋¹、渡邊 敦之¹、伊藤 浩¹、重光 祐輔²、
馬場 健児^{1,2}、大月 審一²

107 心肺停止に至ったQT短縮症候群の1例

岡山大学病院

山岡 英功、森田 宏、大塚 寛昭、戸田 洋伸、寺西 仁、杜 徳尚、
中川 晃志、渡邊 敦之、西井 伸洋、中村 一文、伊藤 浩

108 VT stormに対してCRT-Dの左室ペーシング機能の停止を要した陳旧性心筋梗塞の1例

¹広島市立広島市民病院 循環器内科、²広島市立広島市民病院 臨床検査部

小林 佑輔¹、末成 和義¹、駿河 宗城¹、中尾 恭久¹、池上 雄紀¹、竹本 創¹、
檜垣 忠直¹、臺 和興¹、大井 邦臣¹、川瀬 共治¹、中間 泰晴¹、西岡 健司¹、
酒井 孝裕¹、大塚 雅也¹、嶋谷 祐二¹、正岡 佳子²、塩出 宣雄¹

109 Idiopathic paroxysmal atrioventricular blockと考えられた一症例

マツダ病院

山本 佳征、住居晃太郎、蓼原 太、三保 成正、岩本 明倫

市民公開講座

日時：12月3日(日) 10:00～12:00

会場：倉敷市芸文館 別館1階 アイシアター

「生活習慣病 ～心筋梗塞にならないためのポイント～」

座長：やまだ内科クリニック 倉敷連合医師会会長 山田 齊

座長：倉敷中央病院 循環器内科 門田 一繁

「心筋梗塞について」

倉敷中央病院 循環器内科 門田 一繁

「はじめましょう、続けましょう、運動療法」

岡山医療センター リハビリテーション科 西崎 真里

「心筋梗塞も引き起こすタバコの手」

鳥取大学医学部 薬物治療学分野 長谷川純一

「今日から実践！食事のポイント」

倉敷中央病院 栄養治療部 高瀬 綾子

主催：日本循環器学会中国支部

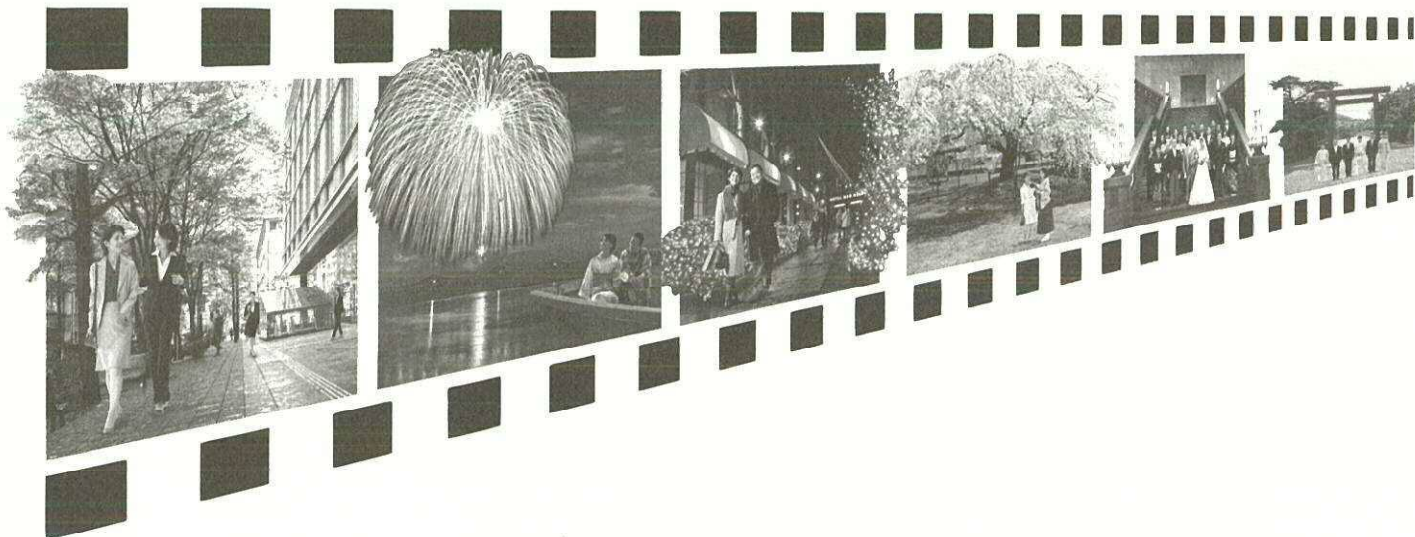
後援：岡山県、倉敷市、岡山県医師会、岡山市医師会、倉敷医師会

協賛会社一覧

(50音順)

アクテリオンファーマシューティカルズジャパン株式会社
アストラゼネカ株式会社
アボット バスキュラー ジャパン株式会社
エーザイ株式会社
MSD株式会社
株式会社カワニシ
株式会社グッドマン
グラクソ・スミスクライン株式会社
公益社団法人 倉敷市連合医師会
興和創薬株式会社
サノフィ株式会社
塩野義製薬株式会社
第一三共株式会社
大日本住友製薬株式会社
武田薬品工業株式会社
田辺三菱製薬株式会社
テルモ株式会社
西日本メディカルリンク株式会社
ニプロ株式会社
日本新薬株式会社
日本メドトロニック株式会社
日本ライフライン株式会社
株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン
富士フィルムRIファーマ株式会社
ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社
株式会社メディアート

平成29年11月1日 現在



笑顔あふれる将来設計を支える。

【禁忌】(次の患者には投与しないこと)

- (1) 妊婦又は妊娠している可能性のある婦人〔妊婦、産婦、授乳婦等への投与〕の項参照。〕
- (2) 重度の肝障害のある患者〔使用経験がない。また、類薬において重篤な肝障害の報告がある。〕
- (3) 強いCYP3A4誘導剤(リファンピシン、セイヨウオトギリソウ含有食品、カルバマゼピン、フェニトイン、フェノバルビタール、リファブチン)を投与中の患者〔相互作用〕の項参照。〕
- (4) 本剤及び本剤の成分に過敏症の既往歴のある患者

【効能・効果】

肺動脈性肺高血圧症

<効能・効果に関連する使用上の注意>

1. WHO機能分類クラスIにおける有効性及び安全性は確立していない。
2. 本剤の使用にあたっては、最新の治療ガイドラインを参考に投与の要否を検討すること。

【用法・用量】

通常、成人には、マシテンタンとして10mgを1日1回経口投与する。

【使用上の注意】

1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)

- (1) 投与開始前の肝酵素(AST、ALT)値のいずれか又は両方が基準値上限の3倍を超える患者〔使用経験がない。〔重要な基本的注意〕の項参照。〕
- (2) 透析中の患者〔使用経験がない。〕
- (3) 重度の貧血のある患者〔重要な基本的注意〕の項参照。〕
- (4) 低血圧の患者〔重要な基本的注意〕の項参照。〕

2. 重要な基本的注意

(1) 本剤の投与に際しては、以下について説明及び指導し、妊娠する可能性のある女性には本剤投与開始前及び投与中は1か月に1回妊娠検査を実施すること。〔禁忌〕及び〔妊婦、産婦、授乳婦等への投与〕の項参照。〕

① 妊娠中に本剤を服用した場合の胎児に及ぼす危険性

② 投与中及び投与中止後1か月間は確実な避妊法を用いるとともに、妊娠した場合若しくはその疑いがある場合には、医師に直ちに連絡すること

(2) 他のエンドセリン受容体拮抗薬において肝酵素値上昇が認められているため、肝機能検査を必ず投与開始前に行い、投与中は、必要に応じて肝機能検査を定期的に実施すること。本剤投与中に臨床的に顕著にAST、ALT値が上昇した場合、これら肝酵素値上昇に伴いビリルビン値が基準値上限の2倍を超える場合、又はこれら肝酵素値上昇に伴い黄疸などの肝障害の徴候を伴う場合には、本剤投与を中止すること。〔慎重投与〕の項参照。〕

(3) 本剤の投与によりヘモグロビン減少が起こる可能性があるため、本剤の投与開始前及び投与中は必要に応じてヘモグロビン濃度を定期的に測定することが望ましい。〔慎重投与〕の項参照。〕

(4) 肺静脈閉塞性疾患患者において、血管拡張薬を使用した場合に肺水腫の発現が報告されているため、本剤を投与しないことが望ましい。また、本剤の投与により肺水腫の徴候がみられた場合は肺静脈閉塞性疾患の可能性を考慮すること。肺静脈閉塞性疾患が疑われた場合には、本剤の投与を中止すること。

(5) 重度の腎障害のある患者では、本剤の投与により低血圧及び貧血が起こる可能性があるため、血圧及びヘ

モグロビンの測定を考慮すること。(6) 本剤は血管拡張作用を有するため、本剤の投与に際しては、血管拡張作用により患者が有害な影響を受ける可能性がある状態(降圧剤投与中、安静時低血圧、血流量減少、重度の左室流出路閉塞、自律神経機能障害等)にあるのかを十分検討すること。〔慎重投与〕の項参照。〕

3. 相互作用

本剤は主にCYP3A4により代謝される。

(1) 併用禁忌(併用しないこと)

強いCYP3A4誘導剤〔リファンピシン(リファジン)、セイヨウオトギリソウ(セント・ジョーンズ・ワート)含有食品、カルバマゼピン(テグレート)、フェニトイン(アレビアチン)、フェノバルビタール(フェノバル)、リファブチン(ミコブチン)〕

(2) 併用注意(併用に注意すること)

強いCYP3A4阻害剤〔ケトコナゾール*、HIV感染症治療薬(リトナビル等)〕

CYP3A4誘導剤〔エファビレンツ、モダフィニール、ルフィナミド等〕

*経口剤、注射剤は国内未発売

4. 副作用

国内臨床試験において、安全性解析対象症例30例中21例(70.0%)41件に副作用が認められた。主な副作用は、頭痛9例(30.0%)、潮紅7例(23.3%)、貧血、浮腫及び末梢性浮腫が各2例(6.7%)であった(申請時)。海外臨床試験において、安全性解析対象症例^{注1)}242例中56例(23.1%)に副作用が認められた。主な副作用は、頭痛12例(5.0%)、貧血9例(3.7%)、浮動性めまい及び末梢性浮腫が各6例(2.5%)であった(申請時)。

(1) 重大な副作用

① 貧血(4.0%)^{注2)} 貧血、ヘモグロビン減少が起こる可能性があるため、定期的な検査及び十分な観察を行い、異常が認められた場合はその程度及び臨床症状に応じて、投与中止など適切な処置をとること。〔慎重投与〕、〔重要な基本的注意〕の項参照。〕

注1) 海外臨床試験成績の10mg投与群より算出した。

注2) 海外及び国内臨床試験成績の10mg投与群より算出した。

●その他の使用上の注意等につきましては、製品添付文書をご参照ください。

創薬・処方箋医薬品(注意-医師等の処方箋により使用すること)

エンドセリン受容体拮抗薬

薬価基準収載

オプスミット®錠10mg

一般名: マシテンタン/Macitentan



製造販売元

アクテリオン ファーマシューティカルズ ジャパン 株式会社

〒107-6235 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

【お問い合わせ先】DIセンター TEL:0120-056-155

販売提携先



日本新薬株式会社

京都市南区吉祥院西ノ庄門口町14

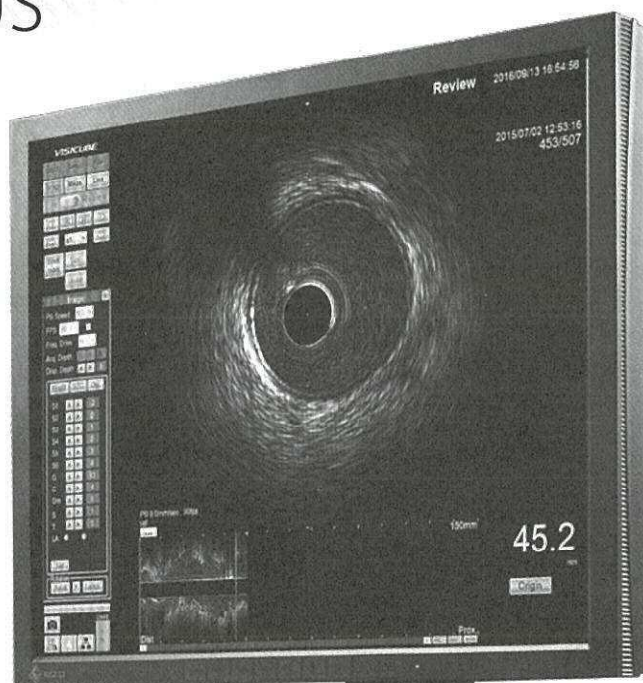
目指したのは“Quick IVUS”

VISICUBE®

循環器用超音波画像診断装置

- 60MHzの高分解能、高速プルバック。
- 簡単な操作と幅広い選択肢で適切な画像取得を実現※。

※AltaView使用時



AltaView®

血管内超音波診断カテーテル

- 画像取得までの時間短縮を追求。
- 適切な画像診断を、広帯域センサーがサポート

VISICUBE

一般的名称:循環器用超音波画像診断装置 販売名:ビジキューブ 医療機器認証番号:227AB8ZX00040000
製造販売業者 上田日本無線株式会社 〒386-8608 長野県上田市踏入2-10-19

AltaView

一般的名称:中心循環系血管内超音波カテーテル 販売名:アルタビュー 医療機器承認番号:22800BZX00267
製造販売業者 テルモ株式会社

ご使用の際は、添付文書および取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

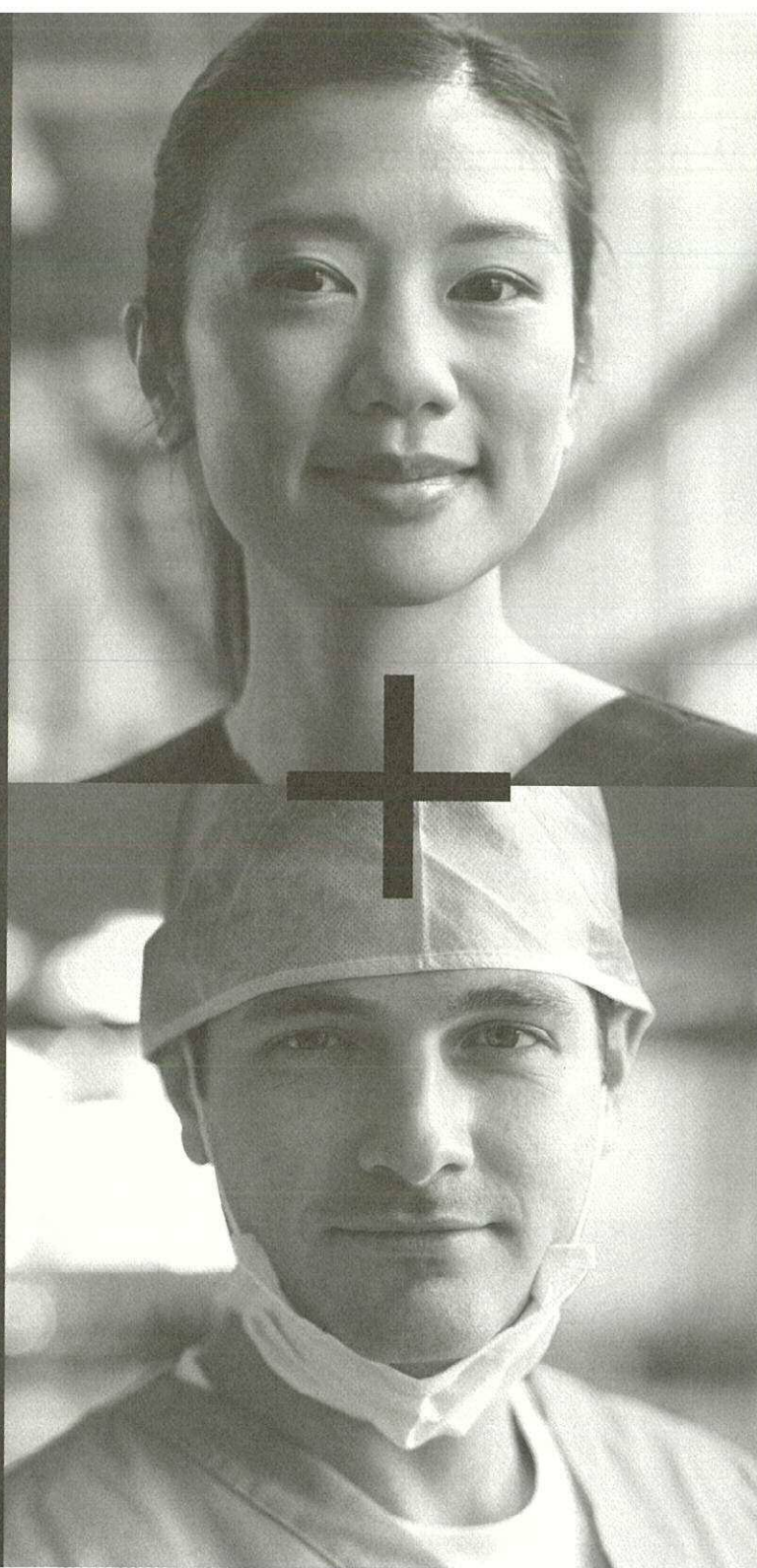
テルモ株式会社

〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷2-44-1
www.terumo.co.jp

TERUMO はテルモ株式会社の商標です。
AltaView、アルタビューはテルモ株式会社の登録商標です。
VISICUBE、ビジキューブは上田日本無線株式会社の登録商標です。
©テルモ株式会社2016年12月

イラストは
イメージ図です。

INNOVATING
WITH
PATIENTS
AND
PROVIDERS
IN MIND



より良い医療の実現を目指して

Further, Together
共に医療を次のレベルへ

medtronic.co.jp

Medtronic

What science can do

心臓の再生

アストラゼネカは、幹細胞活性化に関わる様々なシグナル伝達タンパクが持つ役割を研究することによって、心筋組織の自己修復を可能にすることに取り組んでいます。

シグナル伝達タンパク合成のため、
リボソームにより翻訳されるメッセンジャーRNA

アストラゼネカ株式会社

〒530-0011 大阪市北区大深町3番1号 グランフロント大阪タワーE
www.astrazeneca.co.jp

Zetia®

小腸コレステロールトランスポーター阻害剤 薬価基準収載
——高脂血症治療剤——

ゼチーア®錠10mg

エゼチミブ錠

Zetia®

処方箋医薬品 (注意—医師等の処方箋により使用すること)

●「効能・効果」、「効能・効果に関連する使用上の注意」、「用法・用量」、「禁忌を含む使用上の注意」等の詳細は添付文書をご参照ください。



製造販売元 [資料請求先]
MSD株式会社

〒102-8667 東京都千代田区九段北1-13-12 北の丸スクエア
http://www.msd.co.jp/
[MSDカスタマーサポートセンター]
医療関係者の方 0120-024-961
<受付時間> 9:00~17:30 (土日祝日・当社休日を除く)



Bayer

販売元 [資料請求先]
バイエル薬品株式会社
大阪市北区梅田2-4-9 〒530-0001
http://www.bayer.co.jp/byl

カワニシグループは、 医療・ライフサイエンス・介護の 分野で総合的なサービスを 提供します。

最新の医療情報を、毎月お届けします。
市場動向、医療技術、新製品、治験承認、M&A、病院マネジメント、
品質管理、医療訴訟リスク管理...

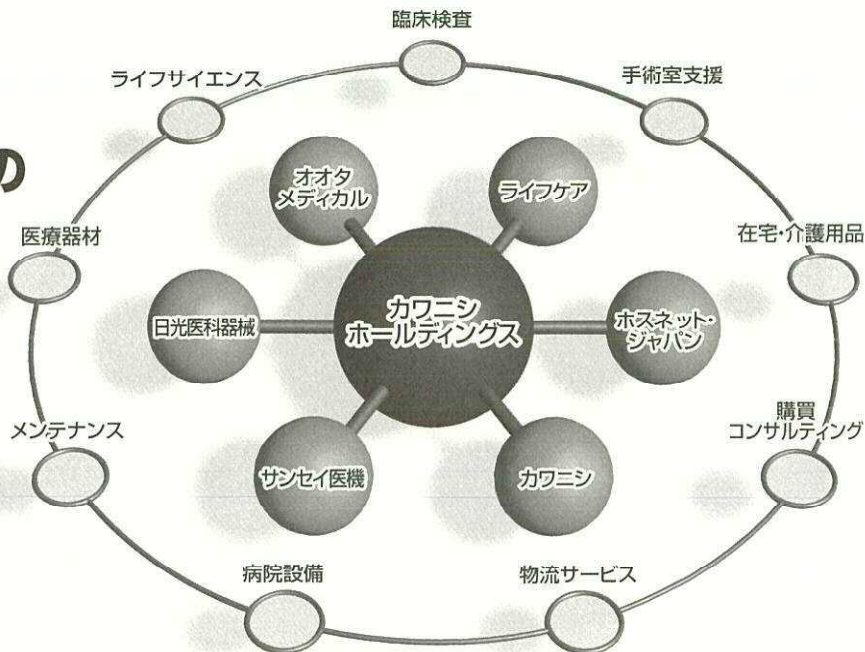


年間会費
46,800円
(税別)

海外の医療デバイスの最新情報を
ピックアップ。ダイジェストで毎月
お届けします。
バックナンバーも含めて、ホーム
ページからいつでもダウンロード
して読めます。

購読のお申し込みはこちらから！

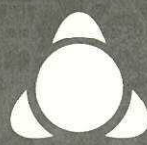
<http://www.kawanishi-md.co.jp/mg/>



株式会社カワニシホールディングス 〒700-0907 岡山県岡山市北区下石井1-1-3 日本生命岡山第二ビル8階 TEL:086-236-1112 URL:<http://www.kawanishi-md.co.jp>

株式会社カワニシ 〒700-8528 岡山県岡山市北区今1-4-31 TEL:086-241-1112
サンセイ医機株式会社 〒963-8822 福島県郡山市昭和2-11-5 TEL:024-944-1157
日光医科器械株式会社 〒581-0018 大阪府八尾市青山町4-10-22 TEL:072-999-1411

株式会社オオタメディカル 〒080-2472 北海道帯広市西22条南3-34-1 TEL:0155-38-3388
株式会社ホスネット・ジャパン 〒700-0975 岡山県岡山市北区今1-3-19 TEL:086-246-5501
株式会社ライフケア 〒700-0971 岡山県岡山市北区野田3-11-38 TEL:086-805-4500

 **NSE ALPHA™**
LACROSSE® Coronary Dilatation Catheter

NON-SLIP-ELEMENT

- 販売名：ラクロスNSE PTCA/バルーンカテーテル
- 医療機器承認番号：21900BZX00929000
- 製造販売元：株式会社グッドマン



※ 効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

製造販売元〔資料請求・問い合わせ先〕

グラクソ・スミスクライン株式会社
〒151-8566 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-6-15

グラクソ・スミスクラインの製品に関するお問い合わせ・資料請求先

TEL : 0120-561-007(9:00~18:00/土日祝日および当社休業日を除く)
FAX : 0120-561-047(24時間受付)

エンドセリン受容体拮抗薬

処方箋医薬品〔注意〕医師等の処方箋により使用すること

薬価基準収載

ヴォリブリス錠2.5mg
Volibris® Tablets 2.5mg アンプリセンタン錠

2016年7月作成

Neo Statin
LIVALO
Japan Origin

HMG-CoA還元酵素阻害剤 薬価基準収載 HMG-CoA還元酵素阻害剤 薬価基準収載
日本薬局方 ビタバスタチンカルシウム錠 ビタバスタチンカルシウム水和物口腔内崩壊錠

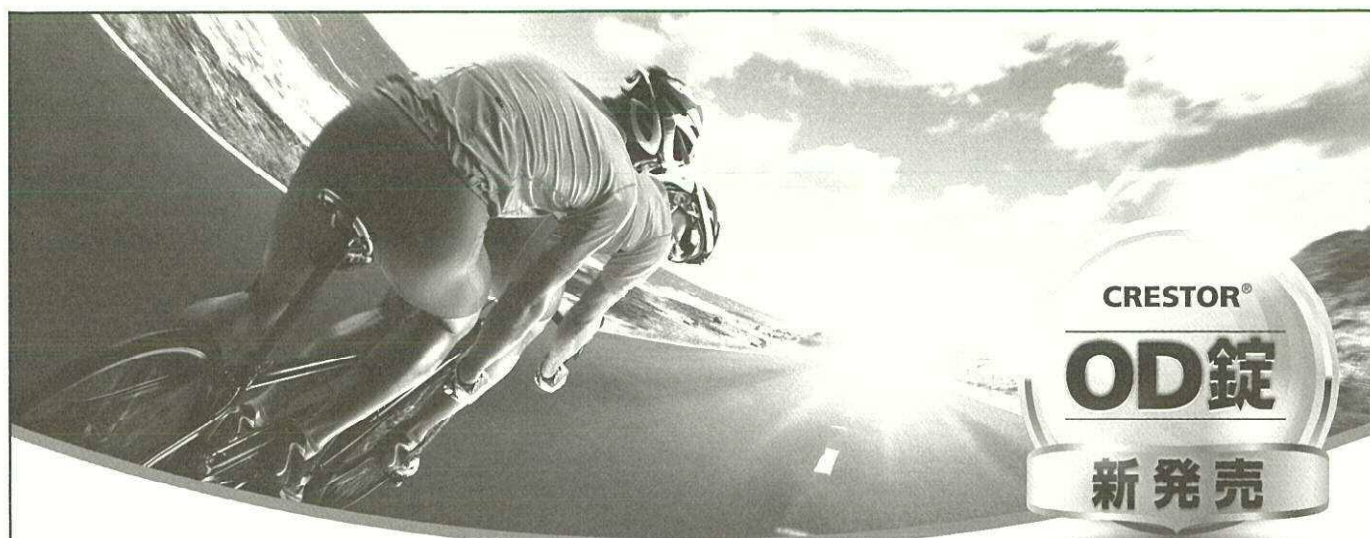
リバロ錠 1mg 2mg 4mg **リバロOD錠** 1mg 2mg 4mg

処方箋医薬品・注意―医師等の処方箋により使用すること

効能・効果、用法・用量、禁忌・使用上の注意等は添付文書をご参照ください。

Kowa
製造販売元〔資料請求先〕
興和株式会社
東京都中央区日本橋本町三丁目4-14
販売元
興和創薬株式会社
東京都中央区日本橋本町三丁目4-14
提携
日産化学工業株式会社

15.5 作成



HMG-CoA還元酵素阻害剤 薬価基準収載
クレストール® OD錠 2.5mg・5mg
 OD錠 2.5mg・5mg
 ロスバスタチンカルシウム錠・口腔内崩壊錠
CRESTOR® 処方箋医薬品：注意－医師等の処方箋により使用すること
 ®：アストラゼネカグループであるIPR社の登録商標です。

製造販売元（資料請求先）
アストラゼネカ株式会社
 〒530-0011 大阪市北区大深町3番1号
 ☎ 0120-189-115（問い合わせフリーダイヤル）
 メディカルインフォメーションセンター）

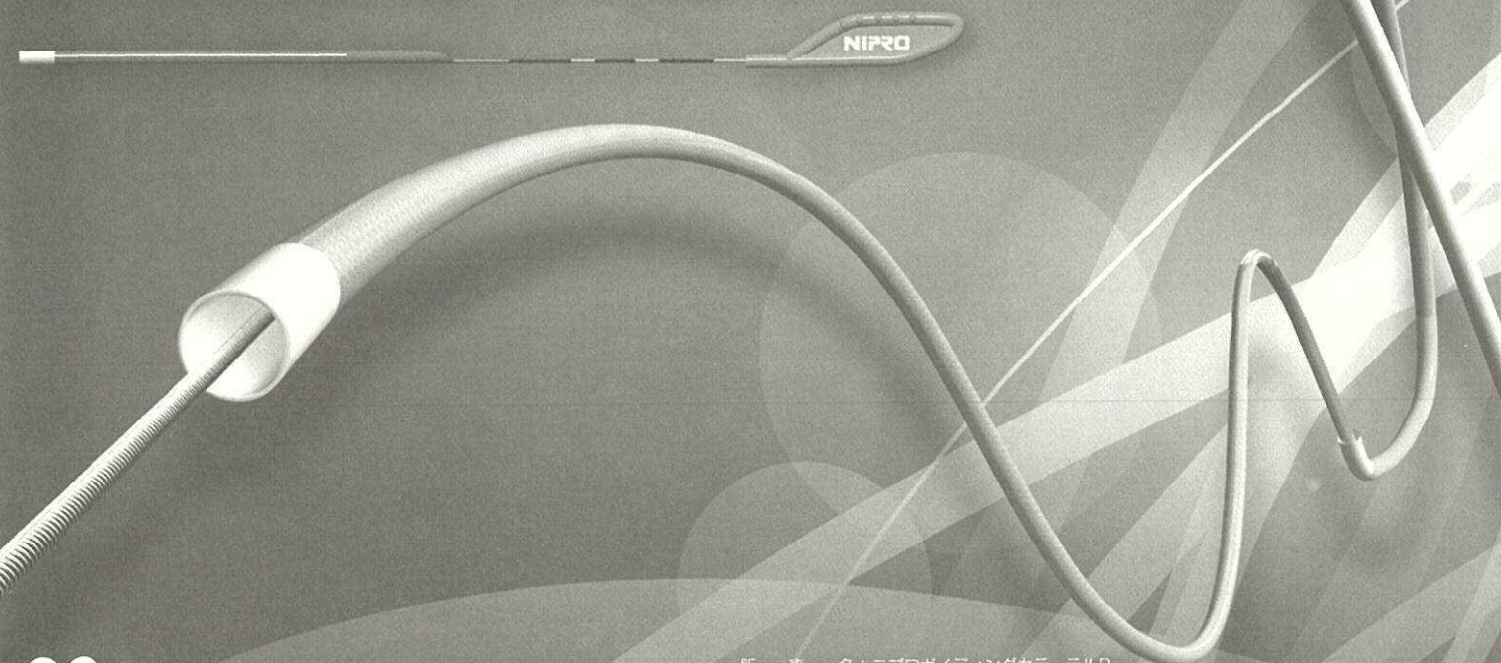
発売（資料請求先）
シオノギ製薬
 大阪市中央区道修町3-1-8
 医薬情報センター ☎ 0120-956-734

●効能・効果、用法・用量、禁忌、原則禁忌を含む使用上の注意等につきましては製品添付文書をご参照ください。

CRE-KO-102A (D1) 審V4120 2016年6月作成 A42

Device Delivery Support Catheter

ガイドプラス
GUIDE PLUS®



NIPRO

製造販売 ニプロ株式会社
 大阪市北区本庄西3丁目9番3号
 （資料請求先）

販売名：ニプロガイドリングカテーテルB
 医療機器承認番号：22600BZX00158000
 クラス分類：クラスⅣ（高度管理医療機器）
 一般的名称：冠動脈貫通カテーテル
 特定保険医療材料請求区分：130心臓手術用カテーテル (2) 冠動脈狭窄部貫通カテーテル

新発売



薬価基準収載

選択的プロスタサイクリン受容体(IP受容体)作動薬

ウトラビ錠 0.2mg
0.4mg

Uptravi® Tablets 0.2mg・0.4mg

セレキシバク錠

処方箋医薬品(注意—医師等の処方箋により使用すること)

「効能・効果」、「用法・用量」、「禁忌を含む使用上の注意」等については添付文書をご参照ください。

製造販売元
(資料請求先)



日本新薬株式会社

〒601-8550 京都市南区吉祥院西ノ庄門口町14

販売提携先



ACTELION

アクテリオン ファーマシューティカルズ ジャパン株式会社
〒107-6235 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

ウトラビ® 及び Uptravi® は、Actelion Pharmaceuticals社の登録商標です。

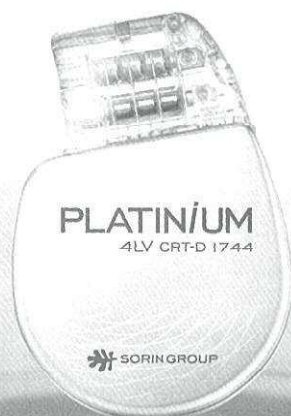
2016年11月作成 A4/2

LivaNova

Health innovation that matters



SORING GROUP



Debut

CRT-D

PLATINIUM 4LV

選択の幅を広げる14通りのペーシングベクトル
MORE LV VECTORS

販売名: プラチニウム CRT-D

一般的名称: 除細動機能付植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータ
医療機器承認番号: 22800BZ100022000

選任製造販売業者

日本ライフライン株式会社

〒140-0002 東京都品川区東品川二丁目2番20号 天王洲郵船ビル CRM事業部 TEL.03-6711-5230
<http://www.jll.co.jp>

JLL Japan Lifeline



innovation  you

[illegible]

株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン
www.philips.co.jp/healthcare

PHILIPS

放射性医薬品／心臓疾患診断薬・心機能診断薬・副甲状腺疾患診断薬 毒薬*・処方箋医薬品^注

カーディオライト®第一/注射液 第一

放薬基:ヘキサキス(2-メトキシイソブチルイソニトリル)テクネチウム(^{99m}Tc)注射液 調製用/注射液 薬価基準収載

注)注意—医師等の処方箋により使用すること。*:「カーディオライト®第一」のみ

※「効能又は効果」、「用法及び用量」、「使用上の注意」等については添付文書をご参照下さい。

富士フイルム R1ファーマ株式会社

TEI 03(5250)2620

2015年4月作成

SYNERGY™
Everolimus-Eluting Platinum Chromium Coronary Stent System

Boston Scientific
Advancing science for life™

薄さと速さのシナジー効果

HEAL
WITH CONFIDENCE

より薄く

より少なく

より速く

販売名：シナジー スtentシステム
医療機器承認番号：22700BZX00372000

製品の詳細に関しては添付文書等でご確認いただくか、弊社営業担当へご確認ください。
© 2015 Boston Scientific Corporation or its affiliates. All rights reserved.
All trademarks are the property of their respective owners.

ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社
本社 東京都中野区中野4-10-2 中野セントラルパークサウス
www.bostonscientific.jp
PSST20151208-0837

大日本住友製薬



長時間作用型ARB／持続性Ca拮抗薬配合剤——薬価基準収載

アイミクス® 配合錠LD

イルベサルタン／アムロジピンベシル酸塩配合錠 AIMIX®

劇薬・処方箋医薬品（注意—医師等の処方箋により使用すること）



長時間作用型ARB——薬価基準収載

アバプロ® 錠 50mg 100mg 200mg

イルベサルタン錠 AVAPRO®

処方箋医薬品（注意—医師等の処方箋により使用すること）



高血圧症・狭心症治療薬／持続性Ca拮抗薬——薬価基準収載

アムロジン® 錠/OD錠 2.5mg 5mg 10mg

日本薬局方 アムロジピンベシル酸塩錠・アムロジピンベシル酸塩口腔内崩壊錠 Amlodin®

劇薬・処方箋医薬品（注意—医師等の処方箋により使用すること）

※効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については製品添付文書をご参照ください。

製造販売元（資料請求先）

大日本住友製薬株式会社

〒541-0045 大阪市中央区道修町 2-6-8

〈製品に関するお問い合わせ先〉

くすり情報センター

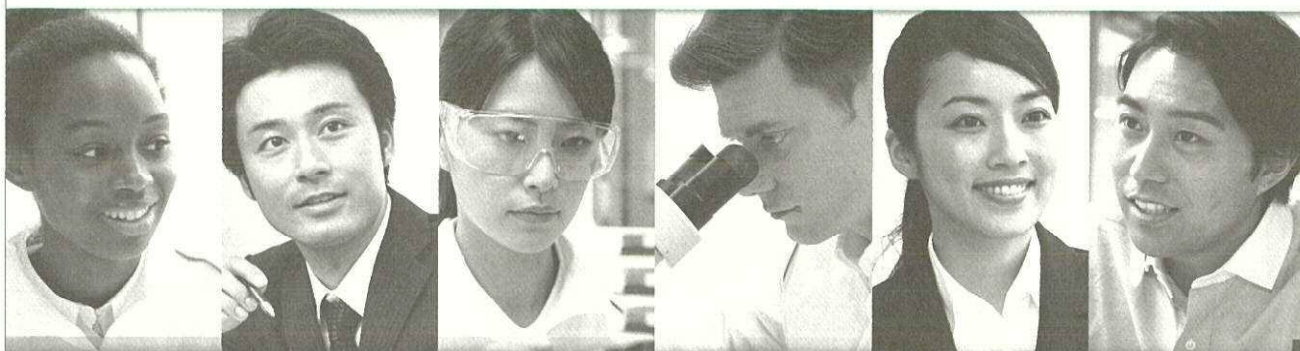
TEL 0120-034-389

受付時間 月～金 9:00～17:30（祝・祭日を除く）

【医療情報サイト】https://ds-pharma.jp/

2017.4 作成

Better Health, Brighter Future



タケダから、世界中の人々へ。より健やかで輝かしい明日を。

一人でも多くの人に、かけがえない人生をより健やかに過ごしてほしい。タケダは、そんな想いのもと、1781年の創業以来、革新的な医薬品の創出を通じて社会とともに歩み続けてきました。

私たちは今、世界のさまざまな国や地域で、予防から治療・治療にわたる多様な医療ニーズと向き合っています。その一つひとつに responding していくことが、私たちの新たな使命。よりよい医薬品を待ち望んでいる人々に、少しでも早くお届けする。それが、いつまでも変わらない私たちの信念。

世界中の英知を集めて、タケダはこれからも全力で、医療の未来を切り拓いていきます。

www.takeda.co.jp

武田薬品工業株式会社

**第111回日本循環器学会中国地方会
プログラム**

発 行 平成29年11月

編 集 倉敷中央病院 循環器内科
〒710-8602 岡山県倉敷市美和1-1-1
TEL : 086-422-0210(代表)

製 作 株式会社日本旅行
中四国コンベンショングループ
〒700-0023 岡山県岡山市北区駅前町2-1-7
JR西日本岡山支社ビル1階
TEL : 086-259-5578 FAX : 086-250-7682
E-mail : jcs-ch111@wjcs.jp

